キャプチャボード

PC-MV3DX/PCI ユーザーズガイド

本書には、本製品をお使いになるうえでの注意や使用方法が記載されています。
本書をお読みになる前に、別紙「はじめにお読みください」を参照して本製品のセットアップを行ってください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

注意マーク

⚠注意 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモマーク

メモ 製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

参照マーク

▶参照 関連のある項目のページを記しています。

• 文中 [ ] で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合､弊社はいかなる責任も負いかねますので､あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補しまたは瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

はじめに

このたびは、本製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
本製品は、テレビやビデオの映像をパソコンのモニタで見たり、ハードディスクに録画するための製品です。本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ 本製品の特長

- ゴーストリデューサ搭載によりゴーストを軽減しくっきりとしたテレビ放送を表示
- 3 次元 Y/C 分離機能搭載により鮮明な映像を再現
- 3 次元ノイズリダクションによりノイズを軽減（3 次元 Y/C 分離機能と排他利用）
- 10bit 高画質 A/D 搭載
- ステレオ /2ヶ国語放送に対応
- 追っかけ再生や録画中のビデオ再生に対応
- iEPG 機能搭載
- 携帯電話からの録画予約に対応
- CM カットなどの編集や DVD 作成をサポート

■ 本製品のセットアップについて

本製品を初めてお使いになる場合は、まず別紙「はじめにお読みください」をお読みください。別紙「はじめにお読みください」には本製品のセットアップ方法が記載されています。

目　次

第 1 章　お使いになる前に

第 2 章　使ってみよう

第 3 章　PCastTV の詳細設定

第 4 章　付録

第1章

お使いになる前に

■この章でおこなうこと

本製品をお使いになる前に設定することや、本製品をお使いになるうえの注意事項を説明しています。

1.1 注意事項

本製品をお使いになるための注意事項を記載しました。お使いになる前に必ずお読みください。

●あなたが録画・録音された映像や音声は、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使用できません。

テレビ放送や録画物などの映像や音声は、著作権法で保護されています。

●著作権保護用の信号（コピーガード等）付きの映像を録画することはできません。

市販の DVD-Video やビデオテープなど著作権保護用の信号付きの映像は、録画せずにお楽しみください。

●大切な録画の場合は、あらかじめテスト録画を行い、画質や音声等に問題がないか確認することをお勧めします。

万一、録画・録音されなかった場合の内容の補償については致しかねます。あらかじめご了承ください。

また、テスト録画をしたあとはハードディスクの空き容量が減少しますので、テスト録画したファイルを消去してからお使いください。

●テレビやビデオを見たり、録画をするときは、他のアプリケーションを動作させないでください。

テレビやビデオの映像を見たり、録画しているときはパソコンに大きな負荷がかかっています。他のアプリケーションを動作させた場合、システムが停止（ハングアップ）したり、コマ落ちしたり、音とびなどが起こることがあります。

●録画予約した場合は、録画終了時間までパソコンがシャットダウンしたり、サスペンドや休止状態にならないように設定してください。パソコンがシャットダウンしていたり、サスペンドや休止状態になっていると録画予約した時間になっても録画されません。

パソコンがサスペンドや休止状態なっていても通常の状態に復帰させることができます（お使いの環境によっては正常に動作しないことがあります）。パソコンをサスペンドや休止状態から復帰させたい場合は、「3.1 ビデオ設定」の「3.1.5 省電力機能の設定」（P69）を参照してください。

また、パソコンをサスペンドや休止状態などの省電力モードに移行させないように設定することができます。パソコンを省電力モードに移行させないように設定したい場合は、「3.1 ビデオ設定」の「3.1.5 省電力機能の設定」（P69）を参照してください。

●録画予約をする場合は、パソコンの日付や時刻が正しく設定されているか確認してください。

パソコンの日付や時刻が正しく設定されていない場合は、録画予約した時間に正しく録画が開始されません。お使いのパソコンのマニュアルを参照して日付や時刻を正しく設定してください。

● WindowsMe/98SE をお使いの場合やハードディスクを FAT 形式（※ 1）でフォーマットしている場合は、1 ファイルに 4GB 以上の容量を保存できません。4GB 以上の容量を録画する場合には、「分割録画の設定をする」（P26）を参照して分割録画の設定を行ってください（※ 2）。

ハードディスクを NTFS 形式（※ 3）でフォーマットしている場合は、4GB 以上のファイルでも保存できます。ファイルをある容量で分割させたい場合のみ分割録画の設定を行ってください。

※ 1　本紙では、FAT32 形式および FAT16 形式を FAT 形式と記載しています。なお、FAT16 形式の場合、1 つの領域として確保できる容量が約 2GB までのため、1 つのファイルに保存できる容量も約 2GB までとなります。

※ 2　WindowsMe/98SE では、初期設定で 2GB を超えるファイルを分割するように設定されています。

※ 3　ファイルシステムを NTFS 形式にできるのは、WindowsXP/2000 のみです。WindowsMe/98SE では NTFS 形式にできません。

1.2 リソースの割り当て

パソコンに機器を増設する場合は、それぞれの機器に「リソース」を割り当てる必要があります。リソースとは、CPU と機器の間で情報をやりとりするためのものであり、パソコンが機器を正しく動作させるために必要なものです。リソースには、割り込み要求(IRQ)、ダイレクトメモリアクセス（DMA）、I/O ポートアドレスなどがあり、それぞれ数に限りがあります。

リソースは機器ごとに違う値を割り当てる必要があり、他の機器に割り当てられているリソースを割り当てる（リソースが競合する）と機器が正しく動作しません。

PCI バス用ボードはプラグアンドプレイに対応しているため、BIOS がリソースを自動的に割り当てます。本製品は PCI バス用ボードなので、通常はリソースの設定をする必要がありません。

■ プラグアンドプレイに対応していない拡張ボードを使用している場合

プラグアンドプレイに対応していない拡張ボード（※ 1）を使用している場合は、対応していない拡張ボードのリソースをあらかじめ固定してください。DOS/V 機の場合は BIOS セットアップ（※ 2）でリソースを固定します。詳しい方法は、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

例として、「AWARD BIOS」を搭載した DOS/V 機で、ISA バス用ボードに割り当てる IRQ を 5 に固定する方法を説明します（※ 3）。

※ 1 DOS/V 機の ISA バス用ボードには、プラグアンドプレイに対応していないものがあります。プラグアンドプレイに対応しているかどうかは、ボードメーカにお問い合わせください。

※ 2 BIOS セットアップの名称は、パソコンが搭載する BIOS によって異なります。

※ 3 BIOS セットアップの操作方法や設定項目は、BIOS の種類によって異なります。また、同じ種類の BIOS でも、BIOS のバージョンなどの違いにより異なる場合があります。詳しくは、パソコンのマニュアルを参照してください。

1 パソコンの電源を ON にします。画面に「Press DEL to enter SETUP」と表示されたら <Delete> キーを押します。

「CMOS SETUP UTILITY」(BIOS セットアップ) が起動します。

2 「PNP/PCI CONFIGURATON」を選択し、<Enter> キーを押します。

3 「Resources Controlled By」を選択し、<PageUp><PageDown> キーで「Manual」に設定します。

4 「IRQ-5 assigned to :」を選択し、「PCI/ISA PnP」から「Legacy ISA」に <PageUp><PageDown> キーで変更します。

5 <Esc> キーを押します。

6 「SAVE & EXIT SETUP」を選択し、<Enter> キーを押します。

1.3 PC-98NX をお使いの方へ

●CyberTrio-NXがインストールされている機種では、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバをインストールできないことがあります。パソコンのマニュアルを参照し、ドライバをインストールする前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

メモ CyberTrio-NX とは、パソコンを使う人ごとに、Windows の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するための機能を持ったソフトです。CyberTrio-NX がインストールされていると、タスクバーに CyberTrio-NX のインジケータが表示されます。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

●スリープボタンは使用しないでください。

スリープボタンでのサスペンド／レジューム機能（消費電力を減らすための機能）を使用すると、システムが正常に動作しなくなることがあります。

メモ サスペンド／レジューム機能によってシステムが正常に動作しなくなったときは、Windows を再起動してください。

1.4 DMA の設定

ハードディスクが DMA 転送 (＊) をするように設定します。

＊ CPU を介さずにアクセスする高速な転送方式

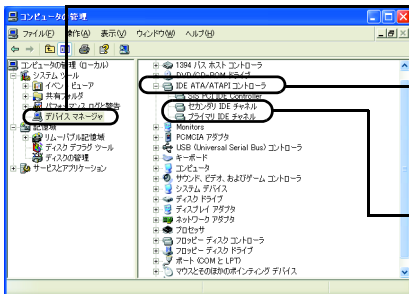
※ パソコンの機種によっては DMA 転送に対応していないものもあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

※ PC98-NX シリーズをお使いのときは、次の操作をする前に CyberTrio-NX をアドバンストモードに変更してください。（P9）

■ WindowsXP/2000 の場合

1 デスクトップ画面の [マイコンピュータ] アイコン（WindowsXP の場合は、[スタート] ─ [マイコンピュータ] アイコン）にマウスのカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。

2 メニューが表示されたら [管理] をクリックします。

3

①[デバイスマネージャ] をクリックします。

②[IDE ATA/ATAPI コントローラ] をクリックします。

③ハードディスクを接続しているチャネル (セカンダリまたはプライマリ) をダブルクリックします。

4

①[詳細設定]タブをクリックします。

②転送モードの▼をクリックし、[DMA（利用可能な場合）] を選択します。

※ ハードディスクをマスタとして接続しているときは、[デバイス 0] の設定を変更してください。スレーブとして接続しているときは、[デバイス 1] の設定を変更してください。

③ [OK] をクリックします。

5　メッセージに従ってシステムを再起動します。

以上で、DMA の設定は完了です。

⚠注意　パソコンの機種によっては、DMA 転送に非対応で、ハードディスクのデータが正しく読み出せないことがあります。その場合は、上記の［転送モード］を［PIO モード］に設定してください。

■ WindowsMe/98SE の場合

1　[マイコンピュータ] アイコンにマウスカーソルを合わせマウスの右ボタンをクリックします。

2　表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。

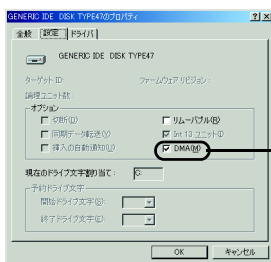
3　［システムのプロパティ］ダイアログボックスが表示されたら、[デバイスマネージャ] タブをクリックします。

4　[ディスクドライブ] をダブルクリックします。

5　お使いのハードディスクをダブルクリックします。

6　[（お使いのハードディスク）のプロパティ] が表示されたら、［設定］タブをクリックします。

7　[□ DMA] をクリックしてチェックマークを付けます。

DMA 転送に対応していない機種では、[□ DMA] のチェックボックスがないかグレー表示になっています。

チェックマークを付けます。

8　［OK］ボタンをクリックし、メッセージに従ってシステムを再起動します。

⚠注意　お使いの環境が DMA 転送に対応しているかどうかはパソコンメーカーにご確認ください。お使いのパソコンによっては、DMA 転送に設定を変更すると、読み込みが正常にできない、Windows が正常に起動しないなどの現象が起こることがあります。このようなときは DMA のチェックボックスのチェックマークを外してください。Windows が起動しない場合は、「DMA を設定後、Windows が起動しない（WindowsMe/98SE のみ）」（P80）を参照して DMA の設定を解除してください。

1.5 本製品のセットアップ

本製品のセットアップ方法は、別紙「はじめにお読みください」に記載されています。本製品のセットアップを行っていない場合は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

1.6 ソフトウェアのインストール

本製品付属のソフトウェアを個別にインストールしたい場合は、以下の方法でインストールしてください。

メモ
- 本製品のセットアップを行った場合は、PCastTV と VideoStudio7 SE DVD は既にインストールされています。
- 各ソフトウェアの説明は、「2.1 ソフトウェアを理解しよう」(P15) を参照してください。
- reserMail は PCastTV をインストールすると同時にインストールされます。

■ PCastTV のインストール

1 ユーティリティ CD をパソコンにセットします。

2

3

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

■ VideoStudio7.0 SE DVD、PhotoImpact7.0 SE、Cool 3D 3.0 SE のインストール

1 ユーティリティ CD をパソコンにセットします。

2

3

以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

第2章 使ってみよう

■この章でおこなうこと

録画や再生など本製品の使い方を説明します。

2.1 ソフトウェアを理解しよう

本製品付属のユーティリティCD には以下のソフトウェアを収録しています。ここでは、各ソフトウェアの概要を説明します。

■ PCastTV

テレビの映像を見たり、録画したりするソフトウェアです。本製品を使用するときは、主にこのソフトウェアを使用します。PCastTV の使用方法は、本書にて説明します。

■ reserMail

携帯電話や他のパソコンからインターネットを使って録画予約するときに使用するソフトウェアです。reserMail は、PCastTV と同時にインストールやアンインストールされます。

reserMail の詳細や使用方法は、reserMail のヘルプを参照してください。reserMail のヘルプは、[スタート] － [（すべての）プログラム] － [BUFFALO] － [PCastTV] － [reserMail のヘルプ] を選択すると表示されます。

■ VideoStudio7.0 SE DVD

録画した映像の編集を行うソフトウェアです。いらないシーンをカットしたり、Video CD や DVD-Video を作成することができます。

VideoStudio の詳細や使用方法は、VideoStudio の PDF ファイルを参照してください。VideoStudio の PDF ファイルは、VideoStudio のインストール後に [スタート] － [（すべての）プログラム] － [Ulead VideoStudio7] － [ユーザーズガイド] を選択するか、ユーティリティ CD 内の ¥UVS7¥Document¥Manual¥Japanese フォルダに収録されている、PDF ファイル「VStudio.pdf」を参照してください。

■ PhotoImpact7.0 SE

グラフィックやイメージの編集、写真データの補正をすることができます。

PhotoImpact の詳細や使用方法は、PhotoImpact の PDF ファイルを参照してください。PhotoImpact の PDF ファイルは、ユーティリティ CD 内の ¥UPI7¥Document¥MANUAL¥Japanese フォルダに収録されている、PDF ファイル「ALBUM-7　MANUAL.PDF」および「PI-7 MANUAL.PDF」を参照してください。

■ Cool 3D 3.0 SE

3D タイトルを作成するためのソフトウェアです。作成したタイトルは、VideoStudio で使用することができます。

Cool 3D の詳細や使用方法は、Cool 3D の PDF ファイルを参照してください。Cool 3D の PDF ファイルは、ユーティリティ CD 内の ¥C3D3¥Manual¥Japanese フォルダに収録されている、PDF ファイル「C3d3manual.pdf」を参照してください。

2.2 PCastTV の画面説明

PCastTV の画面について説明します。PCastTV には、ビデオウィンドウ、プレイヤーウィンドウ、リストウィンドウの 3 つのウィンドウがあります。

■ ビデオウィンドウ

ビデオウィンドウは、テレビやビデオの映像を表示するウィンドウです。ビデオウィンドウに再生したいファイルをドラッグすると、ドラッグしたファイルを再生できます。また、ホイールマウスをお使いの場合は、ビデオウィンドウ上でチャンネルと音量を変更できます。詳しくは、「ビデオウィンドウからチャンネル、音量を変更する」（P20）を参照してください。

■ リストウィンドウ

リストウィンドウは、作業中のタスク（録画、圧縮など）や作業予定のタスク、録画したファイルなどをリストで一覧表示できるウィンドウです。詳しい説明は、「2.9 リストウィンドウを活用しよう」（P39）を参照してください。

■ プレイヤーウィンドウ

プレイヤーウィンドウは、録画や再生など主な操作を行うウィンドウです。

TV ………… 映像入力をTV→ビデオ(コンポジット)→S端子の順に変更します。

FILE ………… 再生するファイルを選択します。

LIST ………… リストウィンドウが表示されていない場合は、リストウィンドウを表示します。リストウィンドウが表示されている場合は、リストウィンドウの表示フォルダを変更します。

▲ ………… チャンネルを変更します。

▼ ………… チャンネルを変更します。

1 2 3 4 5 6 / 7 8 9 10 11 12 ……… チャンネルを変更します。

■ ………… 再生、追っかけ再生などを停止します。

II/▶ ………… 再生または一時停止します。

◀◀ ………… 巻き戻しします。巻き戻しのスピードは、ボタンを押すたびに× 2、× 4、× 8、× 16、× 32 の順に変更できます。

▶▶ ………… 早送りします。早送りのスピードは、ボタンを押すたびに× 1.5(※)、× 2、× 4、× 8、× 16、× 32 の順に変更できます。

※ ファイルによっては、× 1.5 のスピードにできないものがあります。

|◀ ………… リストファイルの同じフォルダにある前のファイルに移動します。

▶| ………… リストファイルの同じフォルダにある次のファイルに移動します。

………… 追っかけ再生を開始します。

● REC ………… 録画を開始します。

EPG ………… iEPG サイトを表示します。

………… 表示されている画像を静止画キャプチャします。

CM SKIP ………… 再生中の映像をある間隔（初期設定 15 秒）スキップします。スキップする間隔は、「3.1 ビデオ設定」の「3.1.9 その他の動作設定」（P74）で変更することができます。

………… [+] と [−] で音声を調節します。また、スピーカ部分をクリックするとミュートします。

ビデオ設定 ………… ビデオ設定を表示します。詳しくは、「3.1 ビデオ設定」（P56）を参照してください。

iEPG設定 ………… iEPG 設定を表示します。「3.2iEPG 設定」(P75) を参照してください。

2.3 基本的な使い方

PCastTV の基本的な使い方を説明します。

■ PCastTV を起動する

デスクトップの PCastTV をダブルクリックします。

または、[スタート] －［（すべての）プログラム ］－ [BUFFALO] － [PCast TV] － [PCastTV] を選択します。

■ PCastTV を終了する

PCastTV を終了する場合は、ビデオウィンドウ右上の [×] をクリックしてビデオウィンドウを閉じるか、プレイヤーウィンドウの [Quit] ボタンをクリックします。

《プレイヤーウィンドウの [Quit] ボタンで終了する場合》

[Quit] をクリックします。

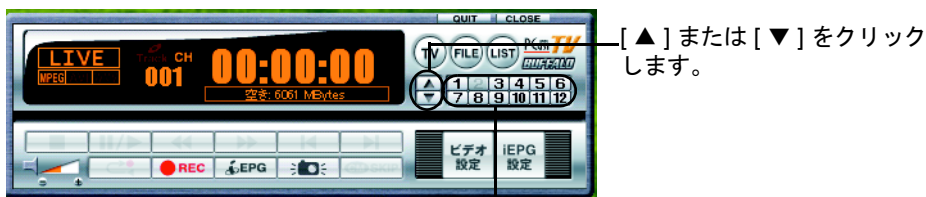
■ ヘルプを参照する

[スタート] －［（すべての）プログラム] － [BUFFALO] － [PCastTV] － [PCastTV のヘルプ] を選択します。

■ 入力の切り替え

プレイヤーウィンドウの [TV] ボタンをクリックします。TV →ビデオ入力（コンポジット）→ S 端子の順に切り替わります。

■　チャンネルの変更

テレビチャンネルを変更します。あらかじめ TV チューナー設定でリモコン割り当てを設定していれば、チャンネル番号のボタンでチャンネルを変更することができます。リモコン割り当ての設定は、「3.3 TV チューナーの設定」（P76）を参照してください。

[▲] または [▼] をクリックします。

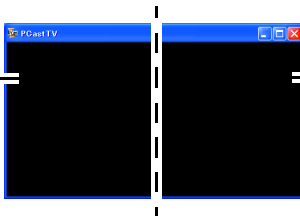
リモコン割り当てを設定したチャンネルは、ここからもチャンネルを変更できます。

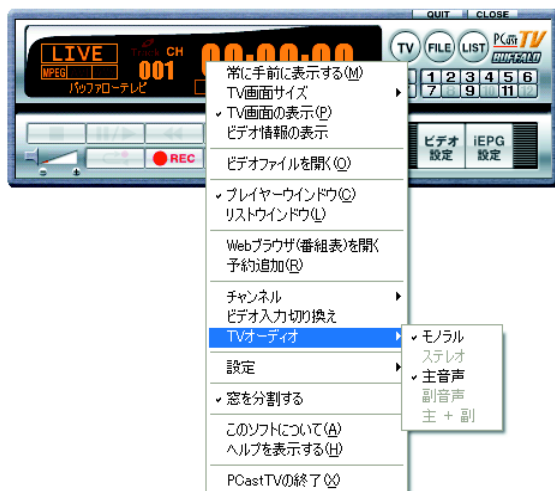
■　音量の調節

音声の大きさをは、以下のように調節します。

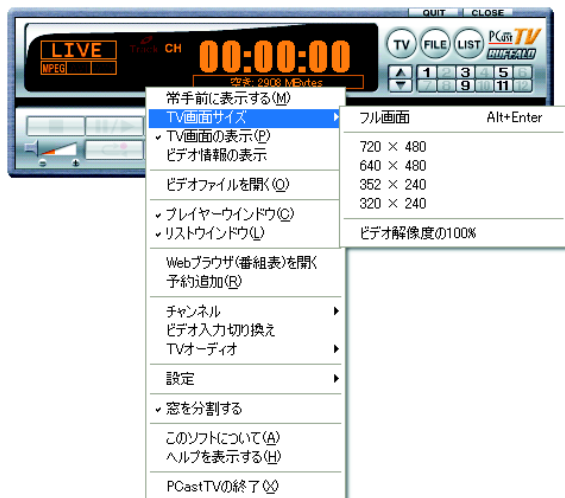
音声を大きくしたい場合は [+]、小さくしたい場合は [−] をクリックします。
また、をクリックするとミュートにすることができます。

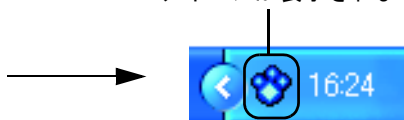
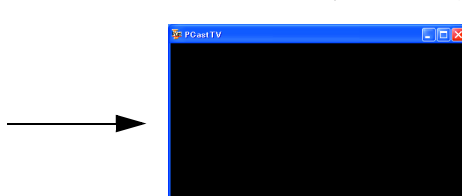
メモ　ビデオウィンドウからチャンネル、音量を変更する

ホイールマウスをお使いの場合は、ビデオウィンドウ上でマウスのホイール (左ボタンと右ボタンの間にあるボタン）を回すとチャンネルや音量を変更できます。ホイールを回した場所が画面左側の場合は音量が、画面右側の場合はチャンネルが変更されます。

■ 音声の切り替え

プレイヤーウィンドウまたはビデオウィンドウを右クリックし、[TV オーディオ] の部分にマウスカーソルをおき、切り替えたい音声を選択します。

■ 画面の大きさを変更する

プレイヤーウィンドウまたはビデオウィンドウを右クリックし、[TV 画面サイズ] の部分にマウスカーソルをおき、変更したいサイズを選択します。

⚠注意 ・この設定で変更されるのは、ビデオウィンドウのサイズのみです。録画解像度は変更されません。録画解像度を変更する場合は、「3.1 ビデオ設定」の「3.1.2 録画 / 圧縮形式の設定」（P58）を参照して、録画するビデオ形式の圧縮設定を変更してください。

■ 画面を最小化する

PCastTV の画面を最小化する場合は、ビデオウィンドウの最小化ボタンをクリックします。最小化ボタンをクリックすると、タスクトレイに PCastTV のアイコンが表示されます。録画予約をしているときなど、PCastTV を待機させたい場合に最小化してください。

画面を元のサイズに戻すときは、タスクトレイの PCastTV のアイコンをダブルクリックします。

また、タスクトレイに表示される PCastTV のアイコンの色で PCastTV の状態を確認することができます。

PCastTV のアイコン色	PCastTV の状態
青色	待機中です。録画予約はされていません。
黄色	録画予約がされています。待機中です。
赤色	録画中です。

■ 映像の情報を表示する

プレイヤーウィンドウまたはビデオウィンドウを右クリックし [ビデオ情報の表示] にチェックをつけると、表示している映像の情報をビデオウィンドウに表示します。映像の入力情報や再生しているファイルの情報を確認したいときにご利用ください。

表示を消したい場合は、プレイヤーウィンドウまたはビデオウィンドウを右クリックし [ビデオ情報の表示] のチェックを外してください。

2.4 録画を行う前に

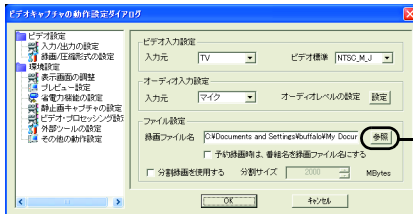
録画を行う前に確認、設定することを説明します。ここでは MPEG 形式で録画する場合の手順を説明します。

Step 1 ファイルの保存場所を設定する

録画するファイルの保存場所を設定します。

1

［ビデオ設定］をクリックします。

2

[参照] をクリックします。

3 保存したいフォルダとファイル名を指定し、[OK] をクリックします。

4 手順 2 の画面に戻りますので、[OK] をクリックします。

以上でファイルの保存場所の確認は完了です。

メモ

- 初期設定では、「マイドキュメント」内の「マイビデオ（My Videos）」に保存されます。
- 実際に保存されるファイル名は、ここで設定したファイル名に保存した月日時分を示す 8 桁の数字が付加されます。また、ファイル名の末尾に録画形式を示す拡張子（.mpg、.avi、.wmv のいずれか）が付加されます。

  例：capture というファイル名を設定し、10 月 21 日 17 時 5 分に MPEG 形式で録画したファイル名は「capture_10211705.mpg」となります。

Step 2 録画品質を設定する

録画する品質を設定します。高い品質に設定すれば画面はきれいになりますが、録画したファイルのファイル容量が大きくなります。なお、ここでは簡易的な設定のみ説明します。詳細に設定したい場合は、「3.1.2 録画/圧縮形式の設定」(P58)を参照してください。

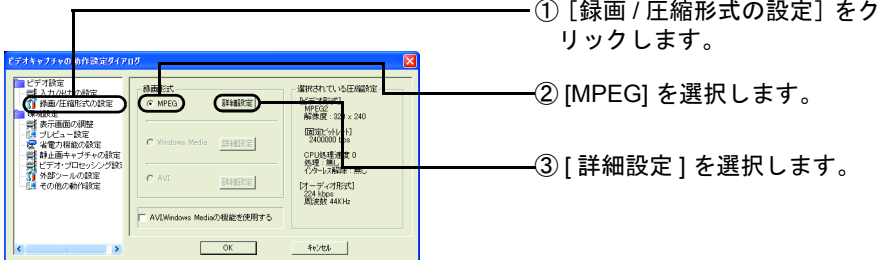
1

［ビデオ設定］をクリックします。

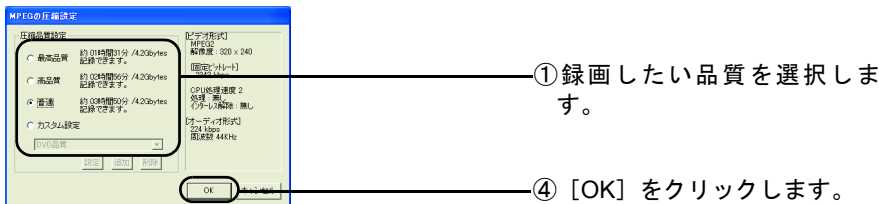
2

① ［録画 / 圧縮形式の設定］をクリックします。

② [MPEG] を選択します。

③ [詳細設定] を選択します。

メモ ここで「Windows Media」を選択すると Windows Media（WMV）形式、「AVI」を選択すると AVI 形式で録画することができます。なお、Windows Media 形式や AVI 形式で録画する場合は、以下の制限があります。あらかじめご了承ください。

- Windows Media 形式や AVI 形式での録画は自己責任で行ってください。弊社では Windows Media 形式や AVI 形式で録画した場合のサポートは行っておりません。
- 「Windows Media」や「AVI」が選択できない場合は、「AVI、Windows Media の機能を使用する」にチェックをつけてください。チェックをつけると、「AVI、WMV 機能の仕様についての注意事項」が表示されますので、表示された分をよく読んで [はい] をクリックしてください。これで、「AVI」や「WMV」を選択できるようになります。

3

4 手順 2 の画面に戻ったら、[OK] をクリックします。

以上で録画品質の設定は完了です。

Step 3 ハードディスクのフォーマット形式を確認する

■ WindowsXP/2000 をお使いの場合

録画ファイルを保存するパーティションが FAT 形式でフォーマットされている場合は、1 ファイルに 4GB 以上の容量を保存することができません。録画ファイルが 4GB を超える場合には、「Step 4　分割録画の設定をする」（P26）を参照して 4GB 以下の容量で分割するように設定してください。

NTFS 形式でフォーマットされている場合は、録画したファイルが 4GB 以上になったときでも 1 つのファイルに保存できます。ある程度の容量でファイルを分割したい場合のみ、「Step 4　分割録画の設定をする」（P26）を行ってください。

■ WindowsMe/98SE をお使いの方へ

WindowsMe/98SE をお使いの場合、ハードディスクを FAT 形式でフォーマットしているため 1 つのファイルに 4GB 以上の容量を保存できません。

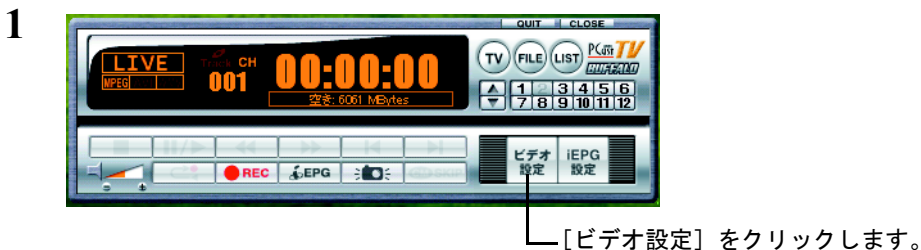
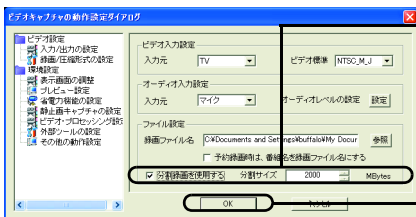
初期設定では、録画しているファイルの容量が 2GB を達した場合にファイルを分割して録画するように設定されています。分割する容量を変更したい場合のみ、「Step 4　分割録画の設定をする」（P26）を参照して分割する容量を設定してください。

Step 4 分割録画の設定をする

録画中のファイルがある容量を超えた場合、ファイルを分割して保存するように設定します。分割録画を行わない場合は設定の必要はありませんが、WindowsMe/98 をお使いの場合や、ハードディスクを FAT 形式でフォーマットしている場合には、1 ファイルに 4GB 以上の容量を保存できないため 4GB 以下の容量で分割することをお勧めします。また、録画したデータを CD-R などの容量の限られたメディアに保存したい場合には、保存するメディアの容量で分割すれば効率的に保存できます。

1

［ビデオ設定］をクリックします。

2

以上で分割録画の設定は完了です。

2.5 録画しよう

ここでは、録画について説明します。

⚠注意
- 録画を行う前に「2.4　録画を行う前に」（P24）を確認して、ファイルの保存場所や分割録画の設定などが正しく設定されているか確認してください。正しく設定されていない場合は、正常に録画できないことがあります。
- 録画中は、他のアプリケーションを動作させないでください。他のアプリケーションを動作させた場合、システムが停止（ハングアップ）したり、正常に録画できないことがあります。
- 録画中にチャンネルや映像入力を変更した場合、録画している映像にもチャンネルや映像入力の変更が反映されます。録画中はチャンネルや映像入力の変更は行わないようにすることをお勧めします。

■　今すぐに録画しよう

今見ている番組を録画したいなど、すぐに録画を開始したい場合は、以下の手順で録画します。

1　録画したいチャンネルや映像を表示します。

2

REC をクリックします。

以上で録画が開始されます。録画を終了するときは、 STOP をクリックしてください。

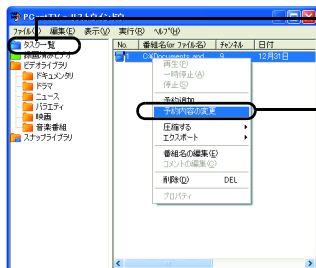
■ 録画終了時間を指定しよう

すでに録画を開始している場合でも、録画を終了する時間を指定することができます。以下の手順で録画してください。

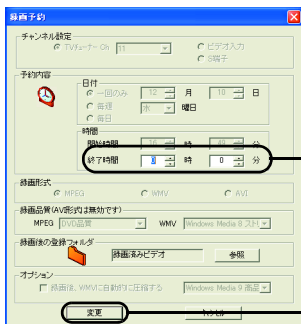
1 PCastTV のリストウィンドウが表示されていることを確認します。

リストウィンドウが表示されていないときは、プレイヤーウィンドウの LIST をクリックしてリストウィンドウを表示します。

2

① [タスク一覧] をクリックします。

② 録画終了時間を指定したいタスクを右クリックし、[予約内容の変更] を選択します。

3

①終了時間を指定します。

② [変更] をクリックします。

以上で録画終了時間の指定は完了です。

■ 録画予約しよう

本製品では、日付、時間を指定して録画することができます。決まった時間に録画したい場合は、以下の手順で録画予約してください。

1 PCastTV の画面を右クリックし、[予約追加] を選択します。

2

※ 録画したファイルは、リストウィンドウの特定のフォルダ（初期設定では「録画済みビデオ」）に登録されます。ここでジャンル別や番組別のフォルダに分けておくと、再生時にジャンル別や番組別に再生することができ、録画したファイルを整理するのに役立ちます。なお、実際のファイルは、「Step 1　ファイルの保存場所を設定する」（P24）で設定したフォルダに保存されます。

以上で、予約録画は完了です。

■ インターネットの番組表から録画しよう（iEPG）

パソコンがインターネットに接続されている場合は、インターネット上の番組表から録画予約することができます。

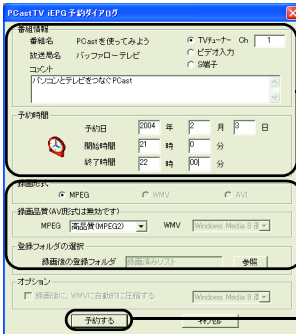
⚠注意
・本製品を接続したパソコンをあらかじめインターネットに接続しておいてください。
・以下の手順を行う前に TV チューナーの設定の地域の設定が正しく行われていることを確認してください。地域の設定が正しく設定されていないと正常に予約できないことがあります。地域の設定は、「3.3 TV チューナーの設定」（P76）を参照してください。

メモ　録画するファイル名を番組名と同じ名称に設定することができます。詳しくは、「3.1.1 入力 / 出力の設定」（P57）を参照してください。

1

EPG をクリックします。

2 ブラウザが表示されますので、予約したい番組を選択します。

3

① 番組名やチャンネル、予約時間が正しいか確認します。

※ 正しいチャンネルが表示されていない場合は、正しいチャンネルを入力してください

② 録画形式、録画品質、登録フォルダを選択します。

③ [予約する] をクリックします。

4 「予約が完了しました」と表示されたら [OK] をクリックします。

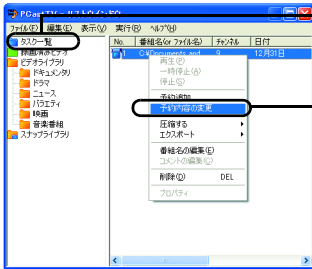
以上でインターネットの番組表からの録画予約は完了です。

■ 録画予約を修正、変更しよう

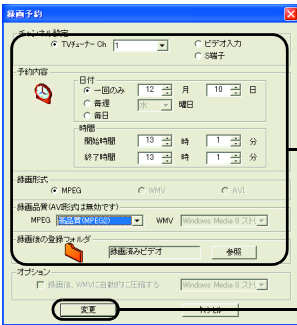
録画予約した時間や設定を変更できます。変更する場合は、以下の手順を行ってください。

1 PCastTV のリストウィンドウが表示されていることを確認します。

リストウィンドウが表示されていないときは、プレイヤーウィンドウの LIST をクリックしてリストウィンドウを表示します。

2

① [タスク一覧] をクリックします。

② 予約を変更したいタスクを右クリックし、[予約内容の変更] を選択します。

3

以上で録画予約の変更は完了です。

2.6 携帯電話からの録画予約（有料）

急に録画したい番組ができたときや、録画をし忘れたときなど携帯電話からでも録画予約することができます。携帯電話から予約するには reserMail を使用します。録画予約をする前にあらかじめ以下の設定を行ってください。

各携帯電話からの番組予約サービスは有料（※）です。あらかじめご了承ください。番組情報の閲覧は無料になります。また、パソコンからの番組予約は、無料でご使用いただけます。
※ 株式会社アイラテ (http://www.irate.tv/) の有料サービスです。

⚠注意
- 携帯電話から予約する場合には、i モードまたはボーダフォンライブ！または EZweb 対応の携帯電話が必要です。
- 本製品を接続したパソコンがインターネットに接続できるようにしてください。また、一定間隔でインターネット上の予約情報を確認するため、常にパソコンの電源を ON にしておく必要があります。
- 録画予約をする前に、本製品を接続したパソコンで PCastTV と reserMail を起動しておいてください。インターネットから予約した内容は、PCastTV と reserMail が起動していないと反映されません。
- 録画予約した情報はすぐに反映されません。予約した情報の反映が遅い場合には、「Step 3　reserMail の設定をする」（P34）を参照して、「録画予約を確認する時間間隔」を確認してください。

Step 1 reserMail のチャンネルを設定する

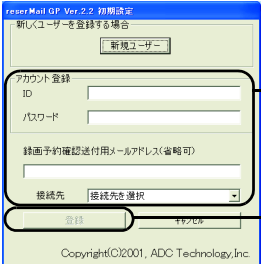
まず、reserMail のチャンネル設定を行います。このチャンネル設定を正しく設定していないと正常に録画予約できませんので必ず設定を行ってください。

⚠注意
- ここで行うチャンネル設定は、reserMail 専用の設定です。resarMail のチャンネル設定を変更しても、PCastTV のチャンネル設定は変更されません。
- 英数は半角で入力してください。全角や半角カタカナなどで入力した場合正常に録画予約することができません。

1 ［ スタート ］－［（すべての）プログラム ］－ [BUFFALO] － [PCastTV] － [reserMail のヘルプ] を選択します。

2 「ご利用になるとき」を参照して、チャンネルを設定します。

Step 2 reserMail のユーザー登録をする

携帯電話からの予約で使用する reserMail のユーザー登録をします。ユーザー登録をしないと reserMail を使用できませんので、必ずユーザー登録を行ってください。

1 [スタート] ー [（すべての）プログラム] ー [BUFFALO] ー [PCastTV] ー [reserMail] を選択します。

2 [新規ユーザー] をクリックします。

3 以降は画面の指示に従ってユーザー登録を行います。

Step 3 reserMail の設定をする

reserMail のユーザー登録が完了したら reserMail の設定を行います。reserMail の設定では、携帯電話から設定した録画予約を確認する時間間隔の設定と、予約確認のメール送信の有無を設定できます。

なお、この設定にはユーザー登録で発行された ID とパスワードが必要です。

1 [スタート] ー [（すべての）プログラム] ー [BUFFALO] ー [PCastTV] ー [reserMail] を選択します。

2

3 設定内容を入力し、[設定] をクリックします。

4 [閉じる] をクリックします。

以上で reserMail の設定は完了です。

Step 4 携帯電話の設定をする

携帯電話から録画予約する場合、以下の手順で録画予約設定してください。

なお、この設定には、「Step 2　reserMail のユーザー登録をする」（P34）で発行されたIDとパスワードが必要です。

⚠注意　以下の方法は 2003 年 12 月現在のものです。お使いの機種によっては手順が異なることがあります。最新の情報は、アイラテのホームページ（http://www.irate.tv/）をご確認ください。

■　i モード対応機種

1　［iMenu］→［メニューリスト］→［テレビ / ラジオ / 雑誌］→［TV 番組情報］→［TVnano/ 番組サーチ］を選択します。

「TVnano」のトップ画面が表示されます。

2　[メンバーページ] → [録画予約の設定] を選択します。

3　表示された画面をよく読んで、ID とパスワードを入力し、[登録] をクリックします。

以上で録画予約設定は完了です。

■　ボーダフォンライブ！ 対応機種

1　[メニューリスト] → [TV・ラジオ・雑誌] → [TV] → [番組ガイド] →［TVnano/ 番組サーチ］を選択します。

「TVnano」のトップ画面が表示されます。

2　[メンバーページ] → [録画予約設定] を選択します。

3　表示された画面をよく読んで、ID とパスワードを入力し、[登録] をクリックします。

以上で録画予約設定は完了です。

■ EZweb 対応機種

1 [ez メニュー] → [トップメニュー] → [EZ インターネット] → [TV・メディア] →［TVnano/ 番組サーチ］からのトップ画面に入ります。

「TVnano」のトップ画面が表示されます。

2 [メンバーページ] → [録画予約の設定] を選択します。

3 表示された画面をよく読んで、IDとパスワードを入力し、[登録]をクリックします。

以上で録画予約設定は完了です。

Step 5 録画予約する

携帯電話の設定が完了すると、携帯電話から録画予約できるようになります。以下の手順で録画予約をしてください。

⚠注意
- 本製品を接続したパソコンをあらかじめインターネットに接続しておいてください。また、一定間隔でインターネット上の予約情報を確認するため、常にパソコンの電源を ON にしておく必要があります。
- 録画予約をする前に、本製品を接続したパソコンで PCastTV と reserMail を起動しておいてください。インターネットから予約した内容は、PCastTV と reserMail が起動していないと反映されません。
- 録画予約した情報はすぐに反映されません。予約した情報の反映が遅い場合には、「Step 3　reserMail の設定をする」（P34）を参照して、「録画予約を確認する時間間隔」を短くしてください。
- テレビ局名が正しく設定できていない場合、「録画予約に失敗しました」というメッセージが表示されます。この場合は、「Step 1　reserMail のチャンネルを設定する」（P33）を参照して、本製品を取り付けたパソコンのチャンネル設定を正しく設定しなおしてください。

1 アイラテのトップ画面を表示します。

アイラテのトップ画面の表示方法は、「Step 4　携帯電話の設定をする」（P35）の手順 1 を参照してください。

2 各メニューから予約したい番組の詳細を表示し、[録画予約] ボタンを押します。

以上で携帯電話からの録画予約は完了です。

2.7 他のパソコンから録画予約しよう

本製品を取り付けたパソコンだけでなく、他のパソコンからでもインターネットを利用して録画予約が行えます。他のパソコンからの録画予約には reserMail の設定が必要となります。他の部屋のパソコンや外出先のパソコンなどから録画予約する場合は、以下の手順で行ってください。

⚠注意
・本製品を接続したパソコンをあらかじめインターネットに接続しておいてください。また、一定間隔でインターネット上の予約情報を確認するため、常にパソコンの電源を ON にしておく必要があります。
・録画予約をする前に、本製品を接続したパソコンで PCastTV と reserMail を起動しておいてください。インターネットから予約した内容は、PCastTV と reserMail が起動していないと反映されません。
・録画予約した情報はすぐに反映されません。予約した情報の反映が遅い場合には、「Step 3　reserMail の設定をする」（P34）を参照して、「録画予約を確認する時間間隔」を確認してください。
・テレビ局名が正しく設定できていない場合、「録画予約に失敗しました」というメッセージが表示されます。この場合は、「Step 1　reserMail のチャンネルを設定する」（P33）を参照して、本製品を取り付けたパソコンのチャンネル設定を正しく設定しなおしてください。

メモ　他のパソコンからインターネットを利用して録画予約を行う場合は、reserMail を使用しても無料で行うことができます。

1　「2.6 携帯電話からの録画予約（有料）」（P33）の STEP1 ～ 3 を参照して、本製品を取り付けたパソコンに reserMail の設定を行います。

2　予約を行いたいパソコン（本製品を取り付けていないパソコン）からアイラテ (http://www.irate.tv/）に接続します。

3　ログインして、録画したい番組をクリックします。

以上で、他のパソコンからの録画予約は完了です。

2.8 再生しよう

録画したファイルを再生する方法を説明します。

⚠注意　本製品は録画中でもファイルを再生することができますが、録画中のファイル再生はパソコンに大きな負荷がかかるため、Pentium4 または Athron XP に満たない CPU をお使いの場合は正常に動作しないことがあります。録画中にファイルを再生させる場合は、Pentium4 または Athron XP 以上の CPU をお使いください。

1　PCastTV のリストウィンドウが表示されていることを確認します。

リストウィンドウが表示されていないときは、プレイヤーウィンドウの LIST をクリックしてリストウィンドウを表示します。

2　再生したいファイルを選択します。

3

II/▶ をクリックします。

以上でファイルの再生が開始されます。

メモ
・再生を停止するときは、プレイヤーウィンドウの ■ をクリックします。
・プレイヤーウィンドウの LIST をクリックすると、リストウィンドウの左側に表示されているフォルダを順に移動できます（リストウィンドウが表示されていないときは、リストウィンドウを表示します）。プレイヤーウィンドウのみで操作したい場合などにお使いください。

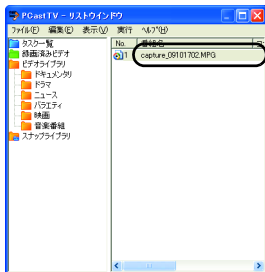
2.9 リストウィンドウを活用しよう

リストウィンドウを活用すると、実際にファイルを保存したファイル名や保存場所と関係なく録画したファイルをジャンルや番組ごとのフォルダに分けたり、いらなくなった録画ファイルを自動的に消去するように設定することができます。

以下の操作をする前にあらかじめリストウィンドウを表示してください。リストウィンドウを表示するには、プレイヤーウィンドウの LIST をクリックしてリストウィンドウを表示します。

⚠注意 リストウィンドウで表示されるフォルダや、番組名、コメント等は、リストウィンドウで見たときにだけ表示されるものです。実際のファイルのファイル名や保存場所とは異なります。また、リストウィンドウ上での番組名、コメントを編集したり、フォルダを変更した場合でも、実際のファイルのファイル名や保存フォルダは変更されません。

■ 録画ファイルの番組名、コメントを入力しよう

録画したファイルの番組名、コメントを入力できます。番組名やコメントを入力したいファイルの「番組名」欄または「コメント」欄をダブルクリックして、入力してください。

「番組名」欄、「コメント」欄をダブルクリックして、番組名やコメントを入力します。

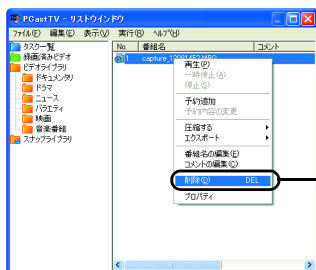
■ 録画ファイルをビデオライブラリで管理しよう

録画したファイルをビデオライブラリの各フォルダに振り分けることができます。ジャンル別や番組別にフォルダを分けておくと、録画したファイルを整理しておけるため、見たいファイルが分からなくなったり、探すのに時間がかかるいうことがなくなります。録画したファイルをビデオライブラリ内のフォルダに移動させる場合は、録画ファイルを移動先のフォルダにドラッグしてください。

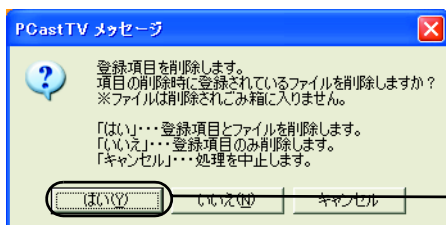
フォルダを変更したい録画ファイルを、ビデオライブラリ内の移動させたいフォルダにドラッグします。

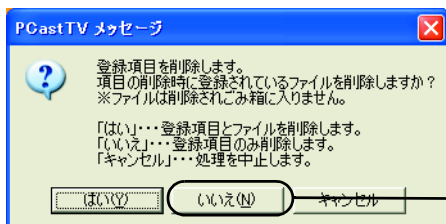
■　いらないファイルを削除しよう

録画したファイルをリストウィンドウから削除することができます。この方法は、リストウィンドウから削除するだけでなく、実際のファイルも削除することもできます。

1

いらないファイルを右クリックして、[削除] を選択します。

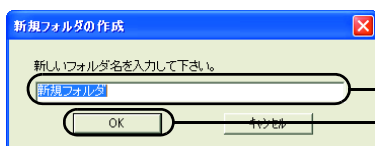
2　この手順は、実際のファイルを削除するかしないかによって異なります。

《実際のファイルも削除する場合》

この画面で [はい] をクリックした場合は、リストウィンドウから削除されると同時に実際のファイルも削除されます。

《実際のファイルは削除しない場合》

この画面で [いいえ] をクリックした場合は、リストウィンドウからは削除されますが実際のファイルは削除されません。

以上でファイルの削除は完了です。

■ ビデオライブラリに新しいフォルダを作ろう

ビデオライブラリ内に新しいフォルダを作成することができます。録画している番組名やジャンルなどでフォルダを作成するとファイルの管理が便利になります。以下の手順でフォルダを作成してください。

以上で新しいフォルダの作成は完了です。

■ 録画、圧縮中のファイルや録画予約の設定を確認しよう

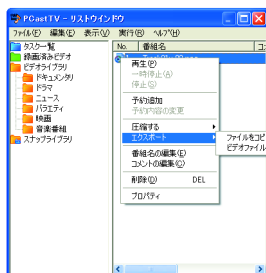
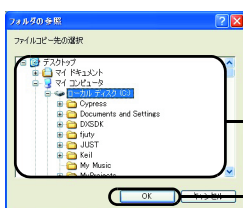
リストウィンドウの「タスク一覧」をクリックすると、録画、圧縮中のファイルや録画予約の設定（開始時間、終了時間など）をまとめて確認することができます。

メモ　この画面から録画、圧縮の中止や録画予約の変更が可能です。録画や圧縮を中止する場合は、中止したいタスク（ファイル）を右クリックし [削除] を選択します。録画予約の変更をする場合は、変更したい予約を右クリックし、[予約内容の変更] を選択します（「■録画予約を修正、変更しよう」（P32）参照）。

■ ファイルをコピーしよう

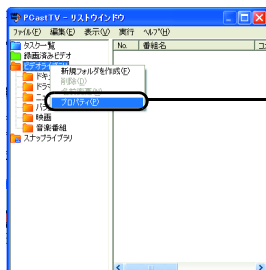
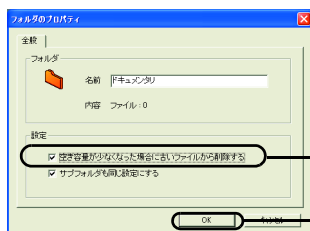
リストウィンドウに登録しているファイルを、他のフォルダにコピーすることができます。以下の手順でコピーしてください。

メモ　コピーしたファイルのファイル名は、コピー元のファイルの「番組名」となります。番組名を変更したい場合は、「■ 録画ファイルの番組名、コメントを入力しよう」(P39) を参照してください。

1

2

以上でファイルのコピーは完了です。

■　ファイルの自動削除設定をしよう

ハードディスクの空き容量が少なくなった場合、特定フォルダにあるファイルを自動的に削除するように設定できます。お使いのハードディスクの空き容量が少ない場合や、削除してもよいフォルダが決まっている場合にお使いください。

1

2

※ サブフォルダも自動消去の設定を行う場合には、[サブフォルダも同じ設定にする] にチェックを付けます。

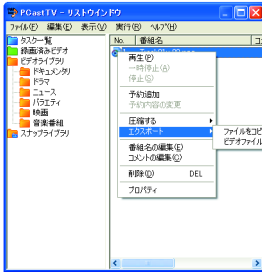
以上で自動消去の設定は完了です。

メモ　自動消去する時の空き容量は、「ビデオ設定」の「その他の動作設定」で設定できます。詳しくは、「3.1 ビデオ設定」の「3.1.9 その他の動作設定」（P74）を参照してください。なお、初期設定では、自動削除するときの空き容量は 2000MB（2GB）に設定されています。

■ 録画したファイルを編集しよう

リストウィンドウから編集ソフト (Video Studio7 SE DVD) を起動し、ファイルの編集を行うことができます。以下の手順で起動してください。

メモ　起動する編集ソフトを変更することもできます。変更する方法は、「3.1.8 外部ツールの設定」（P73）を参照してください。

1

編集したいファイルを右クリックし、[エクスポート] − [ビデオファイルを編集する] を選択します。

2　編集ソフトが起動したら編集を行います。

ファイルの編集は VideoStudio にて行います。詳しくは、Video Studio のヘルプを参照してください。

以上でファイルの編集は完了です。

2.10 静止画をキャプチャしよう

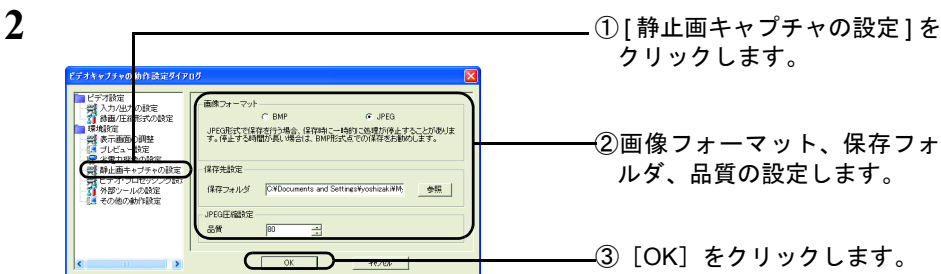
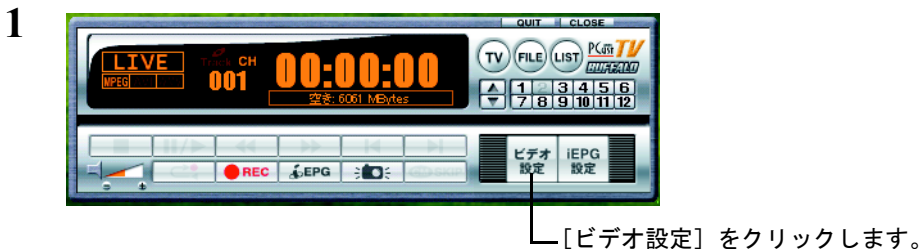
ここでは、静止画をキャプチャする手順を説明します。

Step 1 保存形式と保存場所を設定する

まず、静止画の保存形式と保存場所を設定します。本製品では、JPEG 形式と BMP 形式で静止画を保存できます。

1

［ビデオ設定］をクリックします。

2

以上で保存形式と保存場所の設定は完了です。

Step 2 キャプチャする

静止画をキャプチャします。

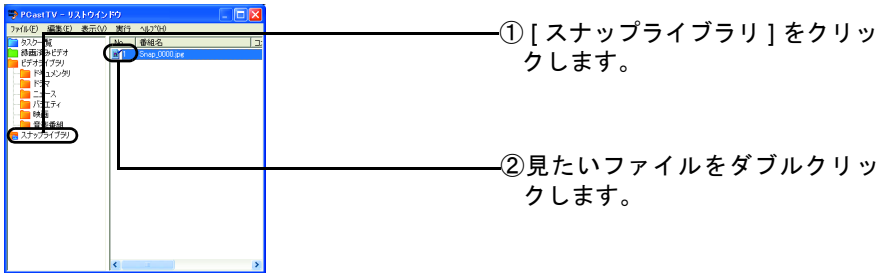
以上で、静止画のキャプチャは完了です。

Step 3 キャプチャした静止画を見る

キャプチャした静止画を見るには、以下の手順を行います。

1 PCastTV のリストウィンドウが表示されていることを確認します。

リストウィンドウが表示されていないときは、プレイヤーウィンドウの LIST をクリックしてリストウィンドウを表示します。

2 見たいファイルをダブルクリックします。

キャプチャした静止画が表示されます。

2.11 追っかけ再生（タイムシフト）を使ってみよう

テレビを見ているときに、トイレに行きたくなったり、来客があったりして、テレビを見ることを中断しなければならないことがあります。こんなときには、追っかけ再生が便利です。追っかけ再生を使えば、見逃したシーンを巻き戻して見たり、気に入ったシーンを繰返し見ることが可能です。追っかけ再生中の映像は録画されるため、後から再生して見ることができます。また、録画中の映像でも巻き戻して見ることができます。

⚠注意 ・追っかけ再生を正常に行うには、Pentium4 または Athron XP 以上の CPU が必要です。お使いのパソコンの CPU が Pentium4 または Athron XP に満たない場合は、表示される画面がコマ落ちするなどの症状が発生することがあります。

・追っかけ再生は、MPEG 形式で録画している場合のみ行うことができます。AVI 形式や Windows Media(WMV) 形式で録画している場合は、追っかけ再生は使用できません。

1 追っかけ再生を行いたい映像を表示します。

2 [● REC] をクリックし、録画を開始します。

3 [⮌] をクリックします。

以上で追っかけ再生が開始されます。追っかけ再生時も通常の再生と同じように早送り、巻き戻しなどの操作ができます。

[II/▶] .... 追っかけ再生を再生、または一時停止します。

[■] .... 追っかけ再生を停止します。録画はそのまま行われます。

[◀◀] .... 巻き戻しします。

[▶▶] .... 早送りします。

[■ STOP] .... 録画を停止します。再生はそのまま行われます。

2.12 録画したファイルを圧縮しよう

> ファイルの圧縮は、自己責任にて行ってください。
> 弊社ではファイルの圧縮についてのサポートを行っておりません。予めご了承ください。

MPEG 形式や AVI 形式で録画したファイルを、ファイル容量の少ない Windows Media（WMV）形式に圧縮することができます。また、録画後に自動で WMV 形式に圧縮することもできます。

⚠注意
- 圧縮作業は、長時間（Pentium4 2GHz をお使いの場合で、2 時間の映像を圧縮するのに 10 時間～ 20 時間程度）かかります。また、パソコンに大きな負荷がかかります。圧縮作業中は、録画したり、他のアプリケーションを動作させたりしないでください。正常に録画できなかったり、アプリケーションの動作が非常に遅くなることがあります。
- 使用しているコーデックによっては圧縮できないことがあります。また、MPEG4 系のコーデック（DivX、MS-MPEG4、Xvid 等）で圧縮している AVI 形式のファイルは、圧縮することはできません。

■ すでに録画したファイルを圧縮する

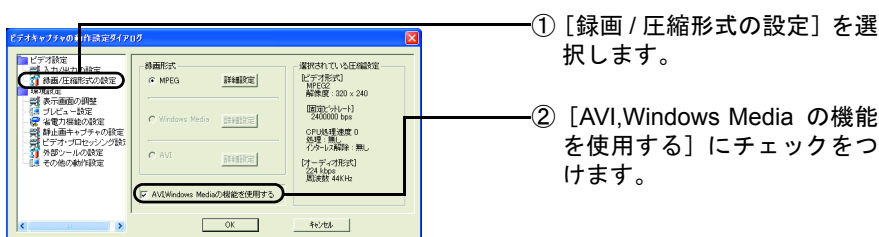
すでに録画したファイルを WMV 形式に圧縮する方法を説明します。

1

［ビデオ設定］をクリックします。

2

① ［録画 / 圧縮形式の設定］を選択します。

② ［AVI,Windows Media の機能を使用する］にチェックをつけます。

3 「AVI、WMV 機能の使用についての注意事項」が表示されますので、表示された文をよく読んで [はい] をクリックしてください。

4 手順 2 の画面に戻りますので、[OK] をクリックします。

5 PCastTV のリストウィンドウが表示されていることを確認します。

リストウィンドウが表示されていないときは、プレイヤーウィンドウの LIST をクリックしてリストウィンドウを表示します。

6 リストウィンドウで圧縮したいファイルを右クリックして、[圧縮する] ー [WindowsMedia 形式に圧縮する] を選択します。

7 「Windows Media 圧縮形式の選択」画面が表示されますので、圧縮に使用するプロファイルを選択し、[OK] をクリックします。

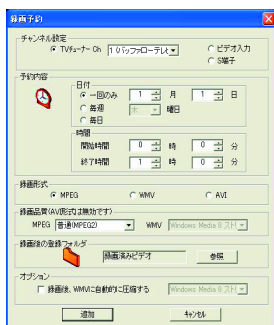
以上で圧縮が始まります。

メモ
- リストウィンドウの画面右の [タスク一覧] フォルダをクリックすると圧縮状況を確認できます。
- 圧縮されたファイルは、圧縮元のファイルと同じフォルダに作成されます。また、リストウィンドウの登録フォルダも圧縮元と同じフォルダに登録されます。

■ 録画終了後に自動で圧縮する

これから録画予約するファイルや録画中のファイルを、録画が終了したときに自動で圧縮します。

1 「■ すでに録画したファイルを圧縮する」（P48）の手順 1 〜 4 を行います。

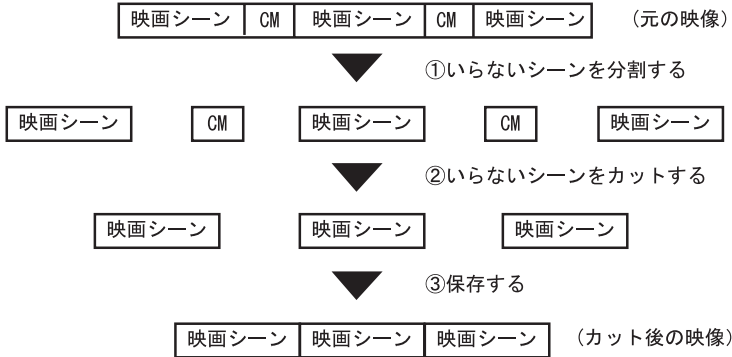
2 「■ 録画予約しよう」（P30）や「■ 録画終了時間を指定しよう」（P29）などを参照して、以下の画面（録画予約確認の画面）を表示します。

3

以上で録画終了後に WMV 形式へ圧縮する手順は完了です。

メモ
・リストウィンドウの画面右の [タスク一覧] フォルダをクリックすると圧縮状況を確認できます。
・圧縮されたファイルは、圧縮元のファイルと同じフォルダに作成されます。また、リストウィンドウの登録フォルダも圧縮元と同じフォルダに登録されます。

2.13 いらないシーンをカットしよう

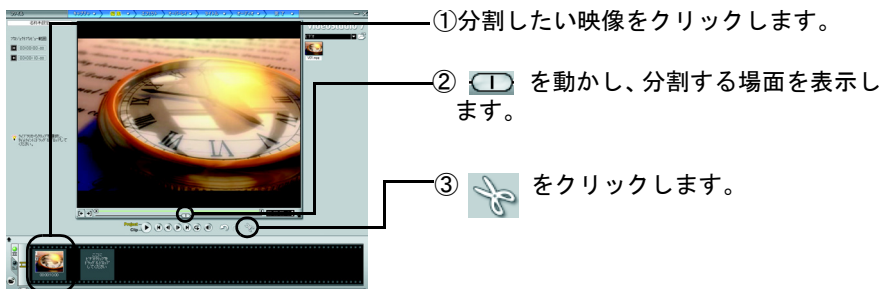
■ いらないシーンをカットするには

いらないシーンをカットするためには、①「いらないシーンを分割する」、②「いらないシーンをカットする」、③「保存する」の 3 つの手順が必要です。例えば、テレビで録画した映画の映像から CM をカットする場合は以下の手順を行います。

■ 操作手順

いらないシーンなどをカットするには、以下の手順で行ってください。

1 [スタート] － [（すべての）プログラム] － [Ulead VideoStudio7] － [Ulead VideoStudio7 SE DVD] を選択し、VideoStudio を起動します。

2

3　いらないシーンを分割します。

4　分割する数だけ手順 3 を繰り返します。

5　いらないシーンをカットします。

いらないシーンを右クリックして、[削除] を選択します。

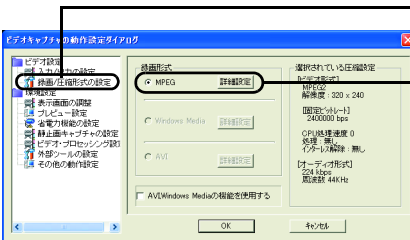
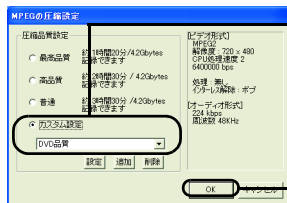
6　ファイルを保存します。

7　以降は画面に従って保存します。

2.14 DVD-Video や Video CD を作ろう

DVD-Video や Video CD を作成する場合、DVD-Video や Video CD の規格に適した形式で録画する必要があります。録画するときに DVD-Video や Video CD の規格に適した形式で録画しておくと、メディアに記録するときにビデオの変換処理を行わないので作成する時間を短縮できます。ここでは、DVD-Video や Video CD の規格に適した形式で録画し、DVD-Video や Video CD を作成する手順を説明します。

1

［ビデオ設定］をクリックします。

2

3

4 DVD-Video や Video CD にしたい映像を録画します。

5 映像の編集を行う場合は、編集を行います

映像の編集は VideoStudio にて行います。詳しくは、Video Studio のヘルプを参照してください。

6 メディアに書き込みます。

メディアへの書き込みは VideoStudio にて行います。詳しくは、Video Studio のヘルプを参照してください。

2.15 PCastTV のアンインストール

PCastTV をアンインストールするときは、以下の手順で行ってください。

1 [スタート] － [（すべての）プログラム] － [BUFFALO] － [PCastTV] － [アンインストーラ] を選択します。

2 以降は画面の指示に従ってアンインストールします。

第3章

PCastTVの詳細設定

■この章でおこなうこと

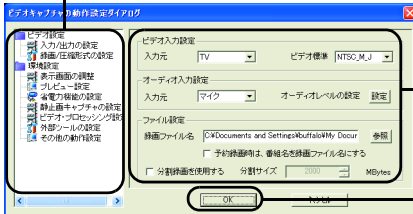
PCastTV の詳細設定を説明します。録画品質や省電力の設定など様々な設定が行えます。

3.1 ビデオ設定

PCastTV のビデオ設定で設定できる項目を説明しています。ビデオ設定を変更するには以下の手順で行います。

1 プレイヤーウィンドウの [ビデオ設定] をクリックします。

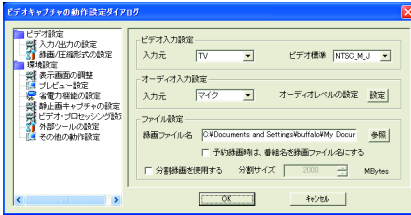
2

①設定する項目を選択します。

②設定を変更します。

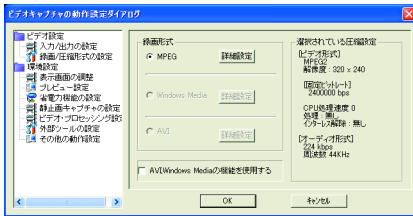
③ [OK] をクリックします。

各項目の説明は、次のページからの説明を参照してください。

3.1.1　入力 / 出力の設定

映像やオーディオの入力設定、保存場所の設定、分割録画の設定が行えます。

映像の詳細設定	
ビデオ入力設定	ビデオ入力の設定をします。
入力元	映像の入力元を S 端子、TV（TV チューナー）、ビデオ入力（コンポジット）から選択します。
ビデオ標準	入力されるビデオの標準形式を選択します。日本では［NTSC_M_J］の形式が使用されていますので、［NTSC_M_J］を選択してください。
オーディオ入力設定	オーディオの入力元を設定します
入力元	本製品のオーディオケーブルを接続しているパソコンまたはサウンドカードの端子を選択します。通常は［Line in］や［Line］を選択してください。
オーディオレベルの設定	録画する時の音量を調節します。詳しくは「オーディオレベルの設定」（P92）を参照してください。
ファイル設定	録画するファイルの設定を行います。
録画ファイル名	録画するファイル名を入力します。
予約録画時は番組名を録画ファイル名にする	予約録画した場合に、録画ファイル名を番組名と同じ名称で保存します。iEPG の場合は、インターネットから取得した番組名を自動的に録画ファイル名にします。
分割録画を使用する	分割録画を使用する場合にチェックを付けます。
分割サイズ（MB）	分割録画を使用する場合に、ファイルを分割するサイズ（容量）を指定します。ハードディスクを FAT 形式でフォーマットしている場合には、4000MB 以下の容量を指定してください。FAT 形式では、1 つのファイルに 4GB 以上の容量を保存することができません。

3.1.2　録画 / 圧縮形式の設定

音声入力の設定および音声形式の設定を行えます。

録画 / 圧縮形式の設定	
録画形式	録画する形式を設定します
MPEG	MPEG 形式で録画する場合に選択します。
Windows Media(WMV) （※）	Windows Media(WMV) 形式で録画する場合に選択します。なお、「AVI、Windows Media の機能を使用する」をチェックしないと、この形式は選択できません。
AVI （※）	AVI 形式で録画する場合に選択します。なお、「AVI、Windows Media の機能を使用する」をチェックしないと、この形式は選択できません。
AVI、Windows Media の機能を使用する	AVI 形式や WindowsMedia(WMV) 形式で録画を行う場合にチェックします。チェックすると AVI 形式や Windows Media 形式で録画するときの注意が表示されますので、同意する場合は [はい] をクリックし、同意しない場合は [いいえ] をクリックしてください。ここで同意しない場合、AVI 形式や Windows Media(WMV) 形式での録画はできません。

※ AVI 形式や Windows Media(WMV) 形式で録画する場合は自己責任で行ってください。弊社では、AVI 形式や Windows Media（WMV）形式で録画した場合のサポートは行っておりません。あらかじめご了承ください。

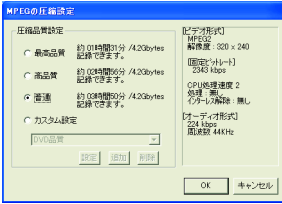
各録画形式（MPEG、Windows Media、AVI）の横にある [詳細設定] をクリックすると、各録画形式の詳細な設定を行うことができます。また、録画するときの録画品質（プロファイル）の設定する場合も詳細設定から行うことができます。各形式の詳細設定の説明は以下のページを参照してください。

■ MPEG 形式の詳細設定 (P59)

■ Windows Media 形式の詳細設定 (P63)

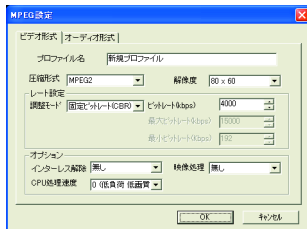
■ AVI 形式の詳細設定 (P66)

■ MPEG 形式の詳細設定

MPEG 形式で録画する場合の録画品質を設定します。また、既存の設定の他に自分オリジナルの設定を作成できます。

MPEG 圧縮設定	
圧縮品質設定	MPEG 形式で録画する場合の録画品質（プロファイル）選択、設定します。各録画品質の設定値は、画面右側に表示されます。
最高品質	3 つの録画品質の中で一番きれいに保存できますが、録画ファイルの容量が大きくなります。
高品質	3 つの録画品質の中で 2 番目にきれいに保存でき、録画ファイルの容量も 2 番目に少なくなります。
普通	3 つの録画品質の中で一番少ない容量で保存できますが、他の 2 つに比べ画質が劣ります。
カスタム設定	オリジナルの設定を作成した場合は [カスタム設定] を選択し、作成した録画品質を選択できます。初期設定では、カスタム設定に 2 つのプロファイルが登録してあります。DVD-Video を作成する場合は、[DVD 品質] を、Video CD を作成するときは [VIDEO CD] をお使いください。
設定	カスタム設定で選択している録画品質（プロファイル）を編集するときにクリックします。
追加	新しい録画品質（プロファイル）を作成する場合にクリックします。
削除	カスタム設定で選択している録画品質（プロファイル）を削除します。

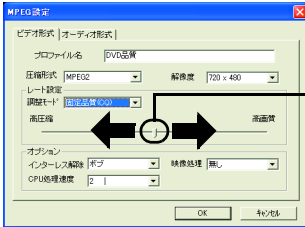
オリジナルの設定を作成する場合は [追加]、すでにある録画品質（プロファイル）を編集する場合には [設定] をクリックします。[追加] または [設定] をクリックすると録画品質を追加、編集するウィンドウが表示されます。

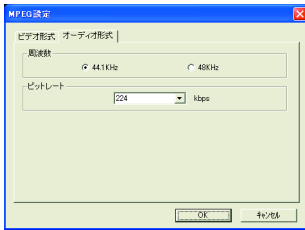
プロファイルの追加、編集には、ビデオ形式とオーディオ形式の 2 つのタブがあります。画面上の [ビデオ形式] タブと [オーディオ形式] タブをクリックしてビデオ設定とオーディオ設定を行ってください。詳しくは、次のページを参照してください。

《録画品質の追加、編集をする場合（ビデオ形式）》

ビデオ形式	
プロファイル名	設定する録画品質の名称を入力します。
圧縮設定	録画形式を MPEG-1、MPEG-2、VIDEO-CD（※ 1）から選択します。
解像度	録画する画面サイズを設定します。
レート設定	作成、編集する録画品質の映像設定を行います。
調整モード（※ 2）	調整モードを固定ビットレート（CBR）、可変ビットレート（CVBR）、固定品質（CQ）（※ 3）から選択します。各モードの特徴は、「用語集」（P93）を参照してください。 また、ここで選択したモードによって「レート設定」で設定できる項目が異なります。
ビットレート	ビットレートを設定します。設定可能範囲は192～15000（kbps）です。設定する値が大きいほど映像がきれいになりますが、録画したファイルの容量も大きくなります。 調整モードで「可変ビットレート」を選択している場合は、ここで設定したビットレートを中心に最大ビットレートから最小ビットレートの範囲で録画します。設定する値は、下で設定する「最大ビットレート」と「最小ビットレート」の範囲に収まるように設定してください。
最大ビットレート	録画するときの最大ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は、上項目の「ビットレート」の値～15000（kbps）です。
最小ビットレート	録画するときの最小ビットレートの設定です。調整モードで「可変ビットレート」を選択した場合のみ設定できます。設定可能範囲は 192（kbps）～上項目の「ビットレート」の値です。
オプション	映像処理やインターレス解除、CPU 処理速度の設定ができます。
映像処理	スムージングを設定します。スムージングを選択すると、映像をソフトにします。
インターレス解除	インターレス解除の設定をします。 ボブは、ノイズは残りますがメディアンに比べシャープな画像になります。 メディアンは、画像をぼかしノイズを除去します。
CPU 処理速度	CPU にどれだけの負荷をかけるか設定します。値が高いほど画質が向上しますが、CPU（パソコン）にかかる負荷が大きくなります。通常は、0 ～ 2 の値を使用してください。

※1　Video-CD 規格に準拠した MPEG1 形式で録画する形式です。VIDEO-CD を選択した場合は、解像度の設定とレート設定ができません（固定となります）。

※2　調整モードで設定したモードによってレート設定で設定できる項目が異なります。

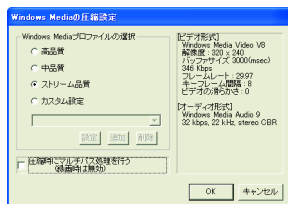
※3　調整モードで「固定品質（CQ）」を選択した場合、画面が以下のように変わります。固定品質の設定は、レート設定に表示されているゲージを調節して行います（ビットレートの指定はできません）。ゲージを高圧縮に近づけるとファイルサイズは小さくなりますが画質が悪くなります。逆に、ゲージを高画質に近づけると、ファイルサイズは大きくなりますが高画質の映像で録画できます。

ゲージを動かして画質を調節します。

《録画品質の追加、編集をする場合（オーディオ形式）》

オーディオ設定	
周波数	オーディオの周波数を 44.1KHz、48KHz から選択します。
ビットレート	音声のビットレートを表示します。ビットレートは高ければ高いほど音質はよくなりますが、録画したときの容量も大きくなります。

■ Windows Media 形式の詳細設定

AVI 形式や Windows Media(WMV) 形式での録画は、自己責任にて行ってください。弊社では、AVI 形式や Windows Media（WMV）形式で録画・圧縮した場合のサポートは行っておりません。あらかじめご了承ください。

WMV 形式で録画する場合のプロファイル（録画品質）を設定できます。

選択したプロファイルの設定は、画面右に表示されます。

WMV 圧縮設定	
高品質	3 つの録画品質の中で一番きれいに保存できますが、録画ファイルの容量が大きくなります。
中品質	3 つの録画品質の中で 2 番目にきれいに保存でき、録画ファイルの容量も 2 番目に少なくなります。
ストリーム品質	3 つの録画品質の中で一番少ない容量で保存できますが、他の 2 つに比べ画質が劣ります。
カスタム設定	オリジナルの設定を作成した場合は [カスタム設定] を選択し、作成した録画品質を選択できます。
設定	カスタム設定で選択している録画品質（プロファイル）を編集するときにクリックします。
追加	新しい録画品質（プロファイル）を作成する場合にクリックします。
削除	カスタム設定で選択している録画品質（プロファイル）を削除します。
圧縮時にマルチパス処理を行う（録画時は無効）	WMV 形式に圧縮する場合に、マルチパス（圧縮を行うビデオの内容を確認後、圧縮する処理を行う方法です。通常の圧縮より高品質になりますが、圧縮時間が倍の時間かかります。）処理を行うか設定します。
選択されているプロファイルの詳細	選択した録画品質（プロファイル）の詳細情報を表示します。

[追加] や [設定] をクリックして、オリジナルのプロファイルを作成、編集することができます。

プロファイルの追加、編集には、ビデオ形式とオーディオ形式の 2 つのタブがあります。画面上の [ビデオ形式] タブと [オーディオ形式] タブをクリックしてビデオ設定とオーディオ設定を行ってください。

《プロファイルの追加、編集をする場合（ビデオ形式）》

ビデオ形式	
プロファイル名	作成、編集するプロファイル（録画品質）名を入力します。
使用する CODEC	使用するコーデックを選択します。滑らかな映像を録画するには、Windows Media8 形式では 1.8GHz 以上、Windows Media9 形式では 2.0GHz 以上の CPU をお使いになることをお勧めします。
ビデオ詳細	ビデオの詳細設定を行います。
ビデオサイズ	録画するビデオサイズ（解像度）を選択します。
バッファサイズ	ビデオ保存時使用するバッファサイズを指定します。バッファサイズを大きくすると保存するビデオ品質は上がりますが、使用するメモリが多くなります。
ビットレート	ビットレートを設定します。ビットレートが高いほどきれいな画像になりますが、録画したファイルの容量も大きくなります。
フレームレート	フレームレートを設定します
キーフレーム間隔	キーフレームの間隔を秒単位で指定します。
ビデオの滑らかさ	ビデオの動きの滑らかさを設定します。数値が小さいほど画面が滑らかになりますが、画質が落ちます。

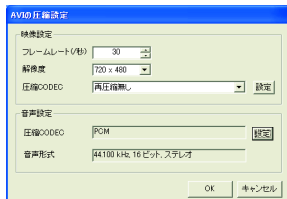
《プロファイルの追加、編集をする場合（オーディオ形式）》

オーディオ形式	
使用する CODEC	オーディオ圧縮に使用するコーデックを選択します。
オーディオ詳細	オーディオの詳細設定を行います。
バッファサイズ	オーディオ保存に使用するバッファサイズを指定します。バッファサイズを大きくすると保存するビデオ品質は上がりますが、使用するメモリが多くなります。
使用するフォーマット	録音するオーディオ形式を選択します。
VBR を使用する	VBR を使用するかを設定します。 VBR を使用すると、録画しているシーンによってビットレート（データ量）を変動させ、どのシーンも同じ画質となるように録画します。 この項目にチェックした場合は、正常に録画できないことがありますので、ご注意ください。
マルチパス設定（※）	マルチパスの設定をします。マルチパスとは、圧縮を行うビデオの内容を確認後、圧縮する処理を行う方法です。通常の圧縮より高品質になりますが、圧縮時間がかかります。

※ マルチパス設定は、録画後に WMV 形式に圧縮する場合のみ有効です。リアルタイムで録画している場合は、マルチパス設定を使用できません。

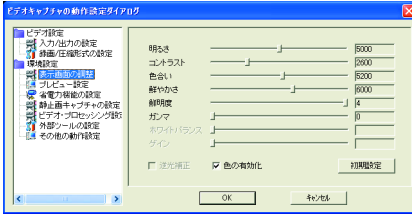
■　AVI 形式の詳細設定

AVI 形式や Windows Media(WMV) 形式での録画は、自己責任にて行ってください。弊社では、AVI 形式や Windows Media（WMV）形式で録画・圧縮した場合のサポートは行っておりません。あらかじめご了承ください。

AVI 形式で録画する場合のフレームレートと解像度を設定します。また、コーデックを使用して圧縮する場合は、使用するコーデックを指定することができます。

AVI 圧縮設定	
映像設定	映像の設定を行います
フレームレート	フレームレートを設定します。
解像度	録画する画面サイズを設定します。解像度を高くすると、録画したときの容量も大きくなることがあります（※）。
圧縮 CODEC	コーデックを使用してリアルタイムに圧縮しながら録画する場合は、使用するコーデックを選択します。コーデックによっては、右横の [設定] ボタンからコーデックの設定を行うことができます。 コーデックを使用しない場合は、[再圧縮なし] を選択してください。
音声設定	音声の設定を行います。
圧縮 CODEC	オーディオに使用するコーデックを表示します。設定を変更したい場合は、右にある [設定] をクリックします。
音声形式	圧縮 CODEC で使用する音声形式を表示します。設定を変更したい場合は、圧縮 CODEC の右にある [設定] をクリックします。

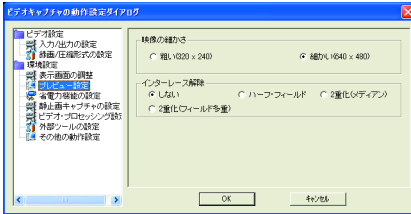
※　録画したときの容量は、AVI　圧縮設定の「ビデオ」で選択したコーデックに依存します。例えば MPEG4 系のコーデック（DivX、MS-MPEG4、Xvid 等）ではビットレートが固定されているため、解像度を変更しても録画したファイルの容量は変わりません。

3.1.3　表示画面の調整

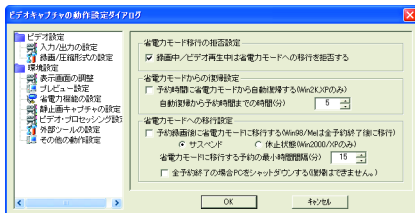
表示画面の明るさ、コントラストなどの値を変更し、表示画面の設定を調節することができます。

表示画面の調整	
明るさ	明るさを調整します。
コントラスト	コントラストを調整します。
色合い	色合いを調整します。
鮮やかさ	鮮やかさを調整します。
鮮明度	シャープさを調整します。
ガンマ	ガンマ値を調整します。
ホワイトバランス（※）	ホワイトバランスを調整します。
ゲイン（※）	ゲインを設定します。
逆光補正（※）	逆光補正を設定します。
色の有効化	色の有効化を設定します。
初期設定	表示画面の設定を出荷時状態に戻します。

※ 本製品では設定できません。

3.1.4　プレビュー設定

テレビやビデオの映像のプレビュー（表示）を設定をすることができます。なお、この設定は、プレビューのみの設定です。録画する映像には反映されません。

プレビュー設定	
映像の細かさ	
粗い（320 × 240）	プレビューを 320 × 240 で表示します。
細かい（640 × 480）	プレビューを 640 × 480 で表示します。
インターレス解除	
しない	プレビューにインターレスの解除を行いません。パソコンにあまり大きな負荷をかけないため、録画するときなどにお勧めします。
ハーフ・フィールド	プレビューで表示される映像の縦の解像度を半分にします。縦の解像度が半分になるため、映像が少し粗くなります。
2 重化（メディアン）	画像をぼかしノイズを除去した映像を表示します。
2 重化（フィールド多重）	1 フレームから 2 フィールドを作成し、多重化処理を行います。最もパソコンに負荷がかかります。

3.1.5　省電力機能の設定

省電力の設定をすることができます。

省電力機能の設定	
省電力モード移行の拒否設定	録画中や再生中に省電力モードに移行しないように設定できます。
省電力モードの復帰設定 （※ 1）（※ 2）（※ 3）	予約録画の時間になった場合に、自動的に省電力モードから復帰するように設定できます。また、予約録画の何分前に自動復帰するかを設定できます。
省電力モードへの移行設定 （※ 4）（※ 5）（※ 6）（※ 7）	予約録画終了後に省電力モードへ移行する際のタイミングやモードを設定します。

※ 1　この設定は WindowsXP/2000 のみ有効です。

※ 2　パソコンによっては休止状態からの復帰ができない場合があります。復帰が可能かテスト後、使用することをお勧めいたします。

※ 3　スタンバイ、休止状態からの復帰を行うには、Windows の電源設定において以下の設定を行う必要があります。

① Windows のコントロールパネル内の「電源オプション」選択します。
②「詳細設定」を選択します。
③「スタンバイから回復するときにパスワード入力を求める」のチェックを外します。

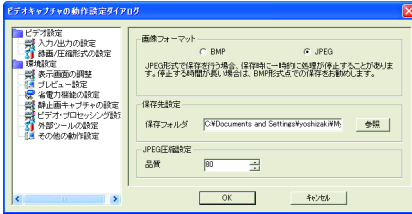
※ 4　予約録画開始前の省電力モード設定は、Windows で行ってください。

※ 5　省電力モードからの復帰ができないパソコンでは、予約録画開始前にパソコンが省電力モードに移行しないように設定してください。

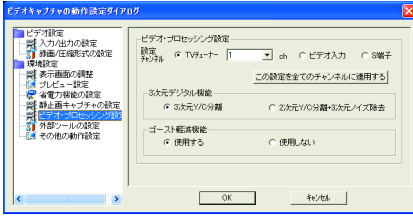
※ 6　WindowsMe/98SE　では、全予約終了時の処理としてサスペンドまたはシャットダウンを選択することのみ可能です。

※ 7　全ての予約が終了したときにパソコンをシャットダウンさせたい場合は、「全予約終了の場合に PC をシャットダウンする」と「予約録画後に省電力モードに移行する（Win98/Me は全予約終了後に移行）」の両方にチェックしてください。どちらか片方しかチェックがない場合には、全ての予約が完了してもパソコンがシャットダウンしません。

3.1.6　静止画のキャプチャ設定

静止画キャプチャの設定を行えます。

静止画キャプチャの設定	
画像フォーマット	保存する形式を選択します。BMP 形式 /JPEG 形式の選択が可能です。
保存フォルダ	記録した静止画像を保存するフォルダを選択します。静止画は指定されたフォルダに連番で記録されます。
品質	JPEG 形式記録時の品質を設定します。1 ～ 100 の範囲で設定が可能です。数値が高いほど、画質がよくなりますが、ファイルサイズが大きくなります。

3.1.7　ビデオ・プロセッシング設定

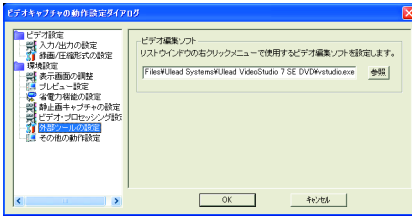
3 次元 Y/C 分離機能やゴースト軽減機能の ON/OFF を設定できます。各映像入力端子やテレビのチャンネルごとに設定できます。

ビデオ・プロセッシング設定	
設定チャンネル	ビデオ・プロセッシング設定をするチャンネルや映像入力を選択します。
TV チューナー	テレビの各チャンネルにビデオ・プロセッシング設定するときに選択します。 チャンネルごとに設定したい場合は、設定するチャンネルを選択し、全チャンネルを設定したい場合は、[この設定を全てのチャンネルに適用する] をクリックします。
ビデオ入力（※ 1）	ビデオ入力（コンポジット）の映像にビデオ・プロセッシング設定するときに選択します。
S 端子（※ 2）	S 端子の映像にビデオ・プロセッシング設定するときに選択します。
この設定を全てのチャンネルに適用する	テレビの全てのチャンネルにビデオ・プロセッシング設定するときにクリックします。
3 次元デジタル機能	3 次元 Y/C 分離と 3 次元ノイズ除去（Y/C 分離は 2 次元）のどちらを使用するか設定します。
3 次元 Y/C 分離	入力映像に 3 次元 Y/C 分離機能を使用します。3 次元 YC 分離機能を使用することで格子模様などの色のにじみを低減できます。
2 次元 Y/C 分離＋ 3 次元ノイズ除去	入力映像に 2 次元 Y/C 分離機能と 3 次元ノイズ除去機能を使用します。3 次元ノイズ除去機能により、ノイズが軽減された映像を楽しむことができます。
ゴースト軽減機能	テレビの画面が 2 重 3 重に見えるゴースト低減する機能を使用するか設定できます。
使用する（※ 3）	ゴースト軽減機能を使用します。テレビの画面が 2 重 3 重に見えるゴースト低減することができます。
使用しない	ゴースト軽減機能を使用しません。

※ 1　ビデオ入力を選択した場合、ゴースト軽減機能は使用できません。

※2　S 端子を選択した場合、3 次元デジタル機能が「2 次元 Y/C 分離 +3 次元ノイズ除去」固定となります（選択できません）。また、ゴースト軽減機能も使用できません。

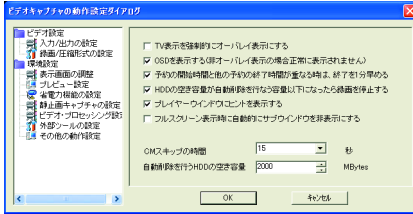
※3　ゴースト低減機能のため、チャンネル切り替え時などに画面が白みがかることがあります。また、ゴーストが軽減されるまでには数分かかります。なお、ゴースト除去用の信号が受信できない場合は、効果がない場合があります。

3.1.8　外部ツールの設定

リストウィンドウから起動する編集ソフトを設定することができます。

外部ツールの設定	
ビデオ編集ソフト（※）	リストウィンドウから起動するビデオ編集ソフトを設定します。初期設定では、Video Studio に設定されています。変更する場合は、［参照］をクリックして設定したいビデオ編集ソフトの実行ファイルを選択してください。

※ お使いの環境や設定したソフトによっては正常に動作しないことがあります。正常に動作しない場合は、本製品付属の VideoStudio に設定し直してください。

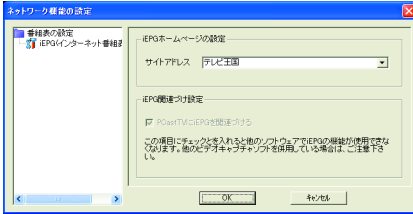
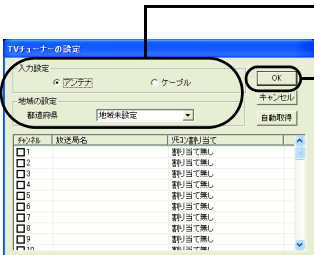
3.1.9　その他の動作設定

オーバーレイや OSD などを設定できます。

その他の動作設定	
TV 表示を強制的にオーバーレイ表示する（※）	通常の設定でビデオウィンドウがオーバーレイされない場合にチェックを付けてください。ビデオウィンドウをオーバーレイ表示します。
OSD を表示する	チャンネルを変更したり、入力元を変更したりした場合に、ビデオウィンドウに案内表示を表示するかを設定できます。
予約の開始時間と他の予約の終了時間が重なる時には、終了を 1 分早める	時間帯を続けて録画する場合、前の時間帯の番組の録画終了時間を 1 分早め、スムーズに次の番組の録画を行えるように設定できます。 この設定にチェックがされていない場合、録画開始時間が遅れることがあります。
HDD の空き容量が自動削除を行う容量以下になったら録画を停止する	ハードディスクの空き容量が下の「自動削除を行う HDD の空き容量」で設定した容量を下回ったときに録画を停止します。 この項目にチェックがされていない場合は、ハードディスクの空き容量がなくなるまで録画をつづけます。ハードディスクの空き容量がなくなった場合は、パソコンのシステムが停止（ハングアップ）することがありますので注意が必要です。
プレイヤーウィンドウにヒントを表示する	この項目にチェックをすると、プレイヤーウィンドの各ボタンにマウスカーソルを置いたときにボタンの説明を表示します。
フルスクリーン表示時に自動的にサブウィンドウを非表示にする	ビデオウィンドウをフルスクリーン（全画面）表示にした場合、プレイヤーウィンドウやリストウィンドウを非表示にします（フルスクリーン表示になってから約 7 秒後に非表示になります）。再度表示させたい場合は、画面をクリックしてください。
CM スキップの時間	CM スキップボタンをクリックしたときに何秒スキップするかを設定します。
自動削除を行う HDD の空き容量	ファイルの自動消去を行う場合は、自動消去を開始する空き容量を設定します。 上の「HDD の空き容量が自動削除を行う容量以下になったら録画を停止する」にチェックをした場合は、録画を停止する容量を設定します。録画中にハードディスクの空き容量がここで設定した容量を下回ると、自動的に録画を停止します。

※　お使いの環境によってはオーバーレイできないことがあります。

3.2 iEPG 設定

iEPG の設定を行うには、プレイヤーウィンドウから [iEPG 設定] をクリックし、以下の画面を表示させせます。

この画面から iEPG サイトの設定や、iEPG の関連付けを設定できます。

iEPG 設定	
iEPG ホームページの設定	iEPG 対応のサイトを選択します。また、サイトアドレス欄に直接 URL を入力することも可能です。
iEPG 関連づけ設定	PCastTV で iEPG 予約をお使いになる場合は、「PCastTV に iEPG サイトを関連づける」にチェックを入れてください。

3.3 TV チューナーの設定

テレビチューナーの設定方法を説明します。

1 PCastTV の画面を右クリックして、[設定] ー [TV チューナーの設定] をクリックします。

2

①お使いの環境を選択します。
※「都道府県」の設定は、お住まいの場所に近い地域を選択してください。選択した地域の放送局名（テレビ局名）が設定されます

② [OK] をクリックします。

⚠注意 テレビ放送のアナログ周波数変換（アナアナ変換）などによりチャンネルが変更された場合は、設定を変更する必要があります。そのときは、[自動取得] をクリックして、受信できるチャンネルを検索してください。

メモ
・「都道府県」の設定を行っても選択できないチャンネルがある場合には、[自動取得] をクリックした後に [OK] をクリックしてください。放送が行われているチャンネルを自動的に検索し、チャンネル設定を行います。
・[自動取得] をクリックしてもお気に入りのチャンネルが検索できない場合は、お気に入りのチャンネル欄にある□にチェックを付けてください。□にチェックがあるチャンネルは、プレイヤーウィンドウのチャンネル変更ボタン（▲または▼）でチャンネルを変更できます。
・リモコン割り当てを設定すると、プレイヤーウィンドウのチャンネル番号ボタンからチャンネルが変更できます。リモコン割り当てを設定する場合は、設定したいチャンネルのリモコン割り当て欄をダブルクリックし、割り当てる数字を選択します。

以上で TV チューナーの設定は完了です。

3.4 デバイスの選択

PCastTV で使用するデバイスの設定を行うことができます。

1 PCastTV の画面を右クリックして、[設定] − [デバイスの選択] を選択します。

2 映像デバイスと音声デバイスの選択画面が表示されますので、映像デバイスと音声デバイスを選択して [OK] をクリックします。

以上で、デバイスの選択は完了です。

3.5 スキンの設定

PCastTV のスキンを変更できます。スキンを変更したい場合は、以下の手順で行ってください。

1 PCastTV の画面を右クリックして、[設定] − [スキンの選択] を選択します。

2 スキンの選択画面が表示されますので、使用したいスキンを選択して [OK] をクリックします。

以上で、スキンの設定は完了です。

■この章でおこなうこと

困ったときの対策方法や用語集、仕様などを説明しています。

第4章 付録

4.1 困ったときは

■ ドライバのインストールができない

原因①： 本製品が正しく接続されていない。

対策①： パソコンの電源スイッチを OFF にし、本製品を取り付けなおしてください。

原因②： PCI バススロットの規格が違っている

対策②： 本製品を接続している PCI バススロットが「PCI Rev2.1」以降に準拠しているか確認してください。Rev は、パソコンのマニュアルを参照するか、パソコンメーカにお問い合わせください。

原因③： 本製品が正しく認識されていない (ドライバが正常にインストールされない)

対策③： 以下の手順でドライバの再インストールを行ってください。

1. ユーティリティ CD をパソコンにセットします。
2. 簡単セットアップが起動しますので、[BUFFALO 製ソフトの個別インストール] を選択して [開始] をクリックします。
3. [PC-MV3DX/PCI デバイスドライバの削除] を選択して [開始] をクリックします。
4. 「PC-MV3DX/PCI のデバイスドライバを削除いたしました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
5. パソコンを再起動します。
6. 別紙「はじめにお読みください」の手順で本製品をドライバをインストールします。

■ DMA を設定後、Windows が起動しない（WindowsMe/98SE のみ）

原因　お使いのパソコンが DMA に対応していない。

対策　お使いのパソコンによっては、DMA 転送に設定すると Windows が起動しないことがあります。次の手順で DMA の設定を解除してください。

1. <ctrl>キーを押しながらパソコンの電源スイッチをONにします([Startup Menu] が表示されるまで押し続けてください)。
2. [Startup Menu] が表示されたら、[Safe Mode] で起動します。
3. デスクトップ画面の [マイコンピュータ] アイコンを選択し、マウスで右クリックします。
4. 表示されたメニューから、[プロパティ] をクリックします。
5. [デバイスマネージャー] タブをクリックします。
6. [ディスクドライブ] の中からお使いのハードディスクのデバイス名を選択し、[削除] をクリックします。
7. Windows を再起動します。

■　映像が表示されない

原因①：　配線が間違っている。

対策①：　別紙「はじめにお読みください」を参照して、正しく配線してください。

原因②：　正しい入力を選択していない。

対策②：　PCastTV の [TV] ボタンをクリックして正しい入力を選択してください。

原因③：　ビデオ機器を再生していない（ビデオ機器の映像を見る場合のみ）

対策③：　ビデオ機器を再生してください。

原因④：　ディスプレイドライバがハードウェアオーバーレイに対応していない

対策④：　ディスプレイドライバを最新のものに更新してください。

原因⑤：「TV 画面の表示」を ON にしていない

対策⑤：　PCastTV の画面を右クリックして [TV 画面の表示] を選択してください。

■　音声が出力されない

原因①：　配線が間違っている。

対策①：　別紙「はじめにお読みください」を参照して、正しく配線してください。特に、本製品のオーディオケーブルとパソコンのライン入力端子が接続されていることを確認してください。

原因②：　音声入力を正しく選択していない、または設定した音声入力が反映されていない

対策②：　音声の入力端子が正しく選択されていない可能性があります。または、音声入力の設定が反映されていないことがあります。以下の手順で音声入力端子の設定を行ってください。

1　PCastTV のプレーヤーウィンドウの [ビデオ設定] をクリックします。

2　「ビデオキャプチャの動作設定ダイヤログ」が表示されますので、画面左側の [入力 / 出力の設定] をクリックします。

3　「オーディオ入力設定」の「入力元」に [Line in] または [ライン イン] または [Line] を選択し、[OK] をクリックします。

原因③：　消音（ミュート）している。音量を下げすぎている

対策③：　PCastTV の音量を上げてください。

原因④：　Windows　のボリュームコントロール設定の音量がミュート、または小さくなっている。

対策④：　Windows　のボリュームコントロール設定で、ライン入力のミュートを外す、または音量を上げてください（ボリュームコントロール設定は、[スタート]-[（すべての）プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント（マルチメディア）] - [ボリュームコントロール] を選択すると起動します）。

原因⑤： NortonAntiVirus をお使いになっている。

対策⑤： NortonAntiVirus をお使いの場合、音声が出力されないことがあります。NortonAntiVirus をお使いの場合は、「Auto プロテクト」機能を OFF にしてください。(NortonAntiVirus に関しては、Symantec 社にお問い合わせください。)

■ 音声が途切れる

原因①： 他のアプリケーションが動作している

対策①： 他のアプリケーションが動いている場合、音声が途切れることがあります。その場合は、他のアプリケーションを終了してください。

原因②： DMA が設定されていない

対策②： 「1.4 DMA の設定」（P10）を参照して DMA の設定をしてください。

原因③： サウンドカードのドライバが最新ではない

対策③： サウンドカードのドライバを最新のものに更新してください。

■ 画面の動きが遅い（コマ送り状態になる）

原因①： 他のアプリケーションが動作している

対策①： 他のアプリケーションが動いている場合、画面の動きが遅くなることがあります。その場合は、他のアプリケーションを終了してください。

原因②： DMA が設定されていない

対策②： 「1.4 DMA の設定」（P10）を参照して DMA の設定をしてください。

■　テレビチャンネルが写らない、または写らなくなった

原因①：　TV チューナーの設定をしていない

対策①：　「3.3 TV チューナーの設定」（P76）を参照して TV チューナーの設定をしてください。

原因②：　テレビのチャンネルが変更された

対策②：　アナログ周波数変換（アナアナ変換）などによりチャンネルが変更された可能性があります。「3.3 TV チューナーの設定」（P76）を参照して TV チューナーの設定をしてください。

■　テレビ視聴時に映像と音声がずれてしまう

原因：　画面の表示サイズが大きい

対策：　画面サイズを大きくするとパソコンにかかる負荷が大きくなり、お使いの環境によっては映像と音声がずれることがあります。その場合は、「画面の大きさを変更する」（P22）を参照して画面の大きさを小さくしてください。

■　テレビの音声にノイズがのる

原因：　リソースが競合している

対策：　「リソースの割り当て」（P8）を参照してリソースを変更してください。

■　映像を録画、再生できない

原因①：　コピーガードがしてある映像を録画している、またはコピーガードがしてある映像を録画したファイルを再生している

対策①：　コピーガードがしてある映像を録画した場合、正常に録画できません。そのため、録画したファイルを再生しても正常な映像は表示されません。

原因②：　VideoStudio で録画している

対策②：　本製品は VideoStudio での録画に対応しておりません。PCastTV を使って録画してください。

■　録画したファイルが再生できない、再生した映像が正しく表示されない

原因①：　Windows Media Player8 以下を使用している

対策①：　Windows Media Player8 以下をお使いの場合、映像を表示できないことや映像の縦と横の比率が正しく表示されないことがあります。この場合は、マイクロソフト社のホームページから最新の Windows MediaPlayer をインストールしてください。最新の Windows MediaPlayer をインストールしても正しく表示されない場合は、PCastTV で再生してください。

原因②：　PCastTV 以外の再生ソフトを使用している

対策②：　お使いの再生ソフト（Windows Media Player を含む）によっては、正常に再生できない場合があります。正常に再生されない場合は、PCastTV で再生してください。

■　録画したファイルの音声にノイズが入る

原因：　パソコンの音声入力ボリュームが大きい

対策：　パソコンの音声入力ボリュームが大きいと録画したファイルの音声にノイズが入ってしまうことがあります。「4.2 オーディオレベルの設定」（P92）を参照して、音声入力のボリュームを調節してください。

■　録画したファイルがコマ落ちしたり、音が途切れる

原因：　高い品質の録画品質（プロファイル）を使用している

対策：　高い品質の録画品質（プロファイル）を使って録画した場合、パソコンにかかる負荷が大きくなります。そのため、お使いの環境によってはコマ落ちや音が途切れたりすることがあります。コマ落ちや音が途切れたりする場合は、お使いの録画品質から、低品質の録画品質（プロファイル）に変更してください。

■　録画がかってに停止する

原因①：　ハードディスクの空き容量が足りない

対策①：　PCastTV の初期設定では､ハードディスクの空き容量が少なくなった場合（初期設定は 2GB を下回ったとき）に自動的に録画を停止します。この場合は、いらないファイルを削除して空き容量を増やしてください。
なお、この設定を解除したり、録画を停止する時のハードディスクの空き容量を変更したい場合は､「3.1.9 その他の動作設定」（P74）で設定できます。

原因②：　録画しているファイルの容量が 4GB を超えた

対策②：　ハードディスクを FAT 形式でフォーマットしている場合や WindowsMe/98SE をお使いの場合は、1 ファイルに 4GB を超える容量を録画することはできません。録画しているファイルが 4GB を超えた場合、プレイヤーウィンドウでは録画を続けているように見えますが録画は停止しています。
録画するファイルが 4GB を超える場合には､1 ファイル 4GB 以下の容量で分割録画するようにしてください。分割録画の方法は､「第 3 章　PCastTV の詳細設定」の「3.1　ビデオ設定」の「3.1.1 入力 / 出力の設定」（P57）を参照してください。

■　追っかけ再生が動作しない、動作するまでに時間がかかる

原因①：　リストウィンドウで追っかけ再生の操作している

対策①：　リストウィンドウで追っかけ再生の操作をした場合、追っかけ再生が動作するまでに時間がかかることがあります。この場合は、プレイヤーウィンドウで追っかけ再生の操作をしてください。

原因②：　他のアプリケーションが動作している

対策②：　他のアプリケーションを動作させているとパソコンに大きな負荷がかかり、追っかけ再生が動作しなかったり、動作するまでに時間がかかることがあります。追っかけ再生を行うときは、他のアプリケーションを終了させてください。

原因③：　高い品質の録画品質（プロファイル）を使用している

対策③：　高い品質の録画品質（プロファイル）で録画した場合、お使いの環境によってはパソコンに大きな負荷がかかり、追っかけ再生が動作しなかったり、動作するまでに時間がかかることがあります。その場合は、低品質の録画品質（プロファイル）に変更して録画してください。

原因④：　画面サイズを大きくしている

対策④：　画面サイズを大きくしているとパソコンに大きな負荷がかかり、追っかけ再生が動作しなかったり、動作するまでに時間がかかることがあります。その場合は、画面サイズを小さくしてください。

原因⑤：　お使いのパソコンの CPU が Pentium4 以上または Athron XP 以上ではない

対策⑤：　追っかけ再生を正常行うには、Pentium4 または Athron XP 以上の CPU が必要です。お使いのパソコンの CPU が Pentium4 または Athron XP に満たない場合は、表示される画面がコマ落ちするなどの症状が発生することがあります。

原因⑥： AVI 形式または WMV 形式で録画している

対策⑥： 録画する形式を MPEG 形式にしてください。追っかけ再生は、MPEG 形式で録画している場合のみ行うことができます。

■　パソコンのシステムが停止（ハングアップ）する

原因①： 他のアプリケーションが動作している

対策①： 本製品を使用して録画や追っかけ再生を行っているときに、他のアプリケーションを動作させているとパソコンに大きな負荷がかかります。本製品で録画や追っかけ再生を行うときは、他のアプリケーションを終了させてください。

原因②： 高い品質の録画品質（プロファイル）を使用している

対策②： 高い品質の録画品質（プロファイル）で録画した場合、お使いの環境によってはパソコンに大きな負荷がかかり、システムが停止することがあります。その場合は、低品質の録画品質（プロファイル）に変更して録画してください。

原因③： 画面サイズを大きくしている

対策③： 画面サイズを大きくしているとパソコンに大きな負荷がかかりシステムが停止することがあります。その場合は、画面サイズを小さくしてください。

原因④： 省電力機能を使用している、または使用するように設定している

対策④： パソコンや PCastTV の省電力機能を設定したり、使用したりするとお使いの環境によってはシステムが停止することがあります。その場合は、パソコンおよび PCastTV の省電力機能を使用しないように設定してください。

■　録画したファイルを圧縮できない

原因①：　AVI 形式で録画したファイルを圧縮しようとしている

対策①：　一部のコーデックを使用して録画されたAVI形式のファイルは、WindowsMedia 形式に圧縮できません。AVI 形式を WindowsMedia 形式に圧縮する場合は、ビデオ及び音声圧縮形式を「再圧縮無し」で記録された AVI 形式のファイルをご使用ください。

原因②：　AVI、Windows Media（WMV）の機能を使用する際の条件に同意していない

対策②：　「録画したファイルを圧縮しよう」（P48）の手順で圧縮を行ってください。なお、WMV 形式への圧縮は自己責任にて行ってください。弊社では、WMV 形式への圧縮についてのサポートは行っておりません。予めご了承ください。

■　省電力機能が動作しない

パソコンや PCastTV で省電力機能の設定を行っても正常に動作しないことがあります。その場合は、PCastTV を終了させた後再度試してみるか、手動で省電力モードに移行させてください。お使いの環境によっては、PCastTV が起動していると省電力機能が正常に動作しない場合があります。

■　reserMail のパスワードを忘れてしまいログインできない

パスワードを忘れてしまい reserMail ログインできない場合は､メールにてエイディシーテクノロジー社（support@epoint.co.jp）へお問い合わせください。
なお、別 ID を使用するために reserMail を初期状態にするには、以下の手順を行ってください。

1　reserMail が常駐している場合は常駐を解除して終了させて下さい。

2　C:¥ProgramFiles¥BUFFALO¥PCastTV¥reserMail¥config のなかにある「config.DAT」を削除してください（下線部は PCastTV をインストールしたフォルダ）。

3　再び reserMail を起動すると、最初のユーザー登録画面が表示され初期状態に戻ります。

4　「Step 2　reserMail のユーザー登録をする」（P34）を参照して、再度 ID とパスワードを取得してください。

■　VideoStudio でレンタリングに時間がかかる

VideoStudio のスマートレンタリング機能を使用してレンタリングしてください｡スマートレンタリング機能を使用すると、編集を行った部分のみレンタリングを行うため、通常のレンタリングよりも高速に行うことができます｡詳しくは､VideoStudio の PDF ファイルを参照してください。ただし、スマートレンタリング機能を使用するためには、編集するファイルを全て同じファイル形式（プロファイル）である必要があります。

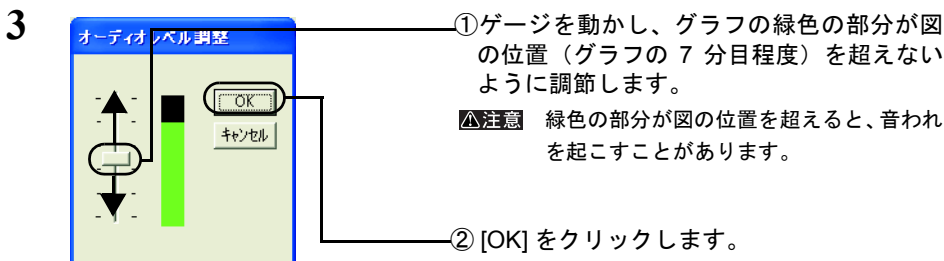
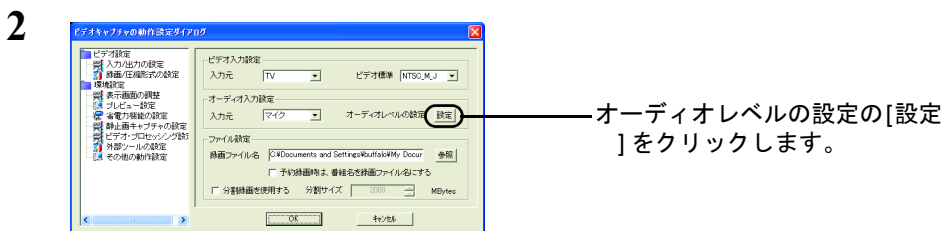
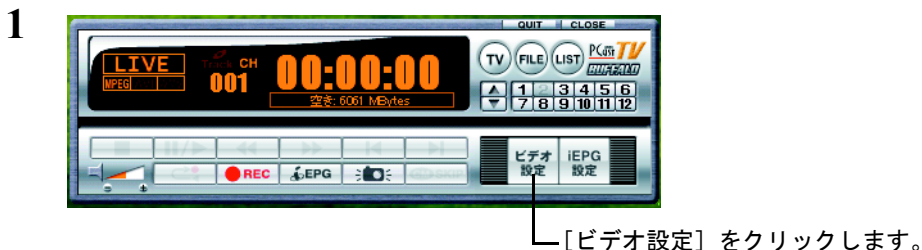
4.2 オーディオレベルの設定

録画した映像の音声にノイズが入っていたり（音割れが起こる）、音声が聞こえないまたは小さい場合は、音声入力ボリュームの設定が適切でない可能性があります。以下の手順で音声入力ボリュームを調節し、適切な設定になっているか確認してください。

1

［ビデオ設定］をクリックします。

2

3

4 手順 2 の画面に戻りますので、[OK] をクリックします。

以上でオーディオレベルの調節は完了です。

4.3 用語集

3DYC 分離

テレビの映像を録画するためには、チューナから同時に入力される輝度（Y）信号と色（C）信号を分離する必要があります。この処理を YC 分離といいます。3DYC 分離では、映像の上下の関係を利用して分離することに加え、前後の映像内容を参照しながら輝度信号と色信号の分離を行うため、より高画質な映像を録画できます。

AVI

Microsoft 社が Windows 用に開発したデジタルファイルフォーマットです。AVI 形式 (コーデックを使用しない）で録画した場合、映像の圧縮を行わないため録画したファイルの容量が大きくなります（320 × 240 の解像度で録画した場合、30 分で約 5GB 必要です）。編集ソフトなどで簡単に加工できる特長を持ちますが、長時間録画を行うと映像と音声がずれることがあります。

CBR：Constant Bit Rate（固定ビットレート）

録画のとき常に同じビットレート（データ量）で録画します。そのため、動きの多いシーンなどでは動きの少ないシーンに比べ画質が落ちることがあります。また、動きが激しい場面では、ビットレートが足りない場合にブロックノイズが発生することがあります。

CQ : Constant Quality（固定品質）

映像品質を一定に保った状態で、ビットレートを自動的に変動させ録画します。

映像によってビットレートが変動するため、録画する映像によって録画したファイルの容量が大幅に変わります（動きが多い映像ほど容量が大きくなります)。

CVBR ：Constrain Variable Bit Rate（可変ビットレート）

あらかじめ設定した範囲のビットレート（データ量）で録画するモードです。動きが多いときはビットレートが高くなり、動きの少ないときはビットレートを低くして録画を行います。本製品では、（平均）ビットレート、最大ビットレートを指定でき、（平均）ビットレートの値を平均値として録画を行います。

DMA 転送

CPU を介さずにデータを転送する方式です。CPU 負荷が軽減され、高速な転送ができるようになります。

iEPG

インターネット上の番組表を使って録画予約をする方法です。録画の開始時間や終了時間を設定することなく、番組表から録画したい番組を選択することで録画予約ができます。

MPEG

Moving Picture Expert Group（通称 MPEG フォーマットフォーラム）が定めた動画圧縮の国際規格です。MPEG フォーマットは、映像と音声を別々に圧縮する方法が採用されており、DVD-Video や Video-CD にも使われているフォーマットです。MPEG フォーマットには、「MPEG-1」「MPEG-2」などいくつかの形式があります。

MPEG-1

MPEG-1 フォーマットとは、1990 年に規格化された動画圧縮技術で、Video-CD のフォーマット形式に用いられています。映像圧縮規格の MPEG-1 と、音声圧縮規格である「MPEG-1 AudioLayer-1」「MPEG-1 AudioLayer-2」「MPEG-1 AudioLayer-3（MP3）」のうちどれかを組み合わせることにより、1 つの動画ファイルとなる形式です。CD-R1 枚（650MB）に 352 × 240 の解像度で約 74 分の映像を保存できます。

MPEG-2

MPEG-1 フォーマットで蓄積されたノウハウを活かし、より画質を向上させたフォーマットです。DVD-Video の形式に用いられています。

VBR（Variable Bit Rate）

録画しているシーンによってビットレート（データ量）を変動させ録画します。動きが多いときはビットレートが高くなり、動きの少ないときはビットレートを低くするため、全てのシーンがほぼ同じ品質で録画されます。

WMV

Windows Media 形式の映像ファイルです。

ゴーストリデューサ

テレビ映像視聴時にゴースト（二重三重に見えたり、映像がぶれたりする現象）を軽減させる機能です。輪郭をはっきりさせたい場合にお使いになると有効です。

コーデック（Codec）

コーデックとは符号化 (coding) と復号 (decode) を纏めて呼んだものです。映像や音声を圧縮・伸張するプログラムで、パソコンで映像を再生・保存するのに必要なものです。コーデックには様々な種類があり、映像ファイルによって必要なコーデックが異なります。もし、ファイルに適したコーデックがパソコンにない場合には、映像が表示されなかったり、音声が出力されないことがあります。

※ 本製品では、AVI 形式で録画する場合に使用するコーデックを指定できます。コーデックを使用して録画した場合は、使用しない場合に比べ少ない容量での録画ができますが、パソコンに大きな負荷がかかるためコマ落ちなどが発生することがあります。また、コーデックには設定を必要とするものもありますので注意が必要です。なお、弊社ではコーデックを使用した録画についての保証、サポートは行っておりません。コーデックを使用して録画する場合は自己責任で行ってください。

ビットレート

画質を決定する値です。ビットレートが高くなると画質が向上されますが、録画ファイルの容量が大きくなります。

フレームレート

フレームレートとは、1 秒間にいくつの画像が表示されるか表しています。日本のテレビ放送では、29.97 フレーム／秒（fps）となっています。

マルチパス

圧縮を行うビデオの内容を確認後、圧縮する処理を行う方法です。通常の圧縮より高品質になりますが、圧縮に時間がかかります。

4.4 仕様

メモ　最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

仕様	
PCI インターフェース	・Rev2.1 以降 ・プラグアンドプレイ対応
ビデオ分解能	10bit
TV アンテナ入力	F 型コネクタ（入力インピーダンス 75Ω）
受信チャンネル（※1）	VHF：1 ～ 12ch　UHF：13 ～ 62ch
TV 音声	ステレオ /2ヶ国語対応（EIAJ 方式）
入力方式	NTSC-M（日本国内仕様）
コンポジットビデオ入力	RCA ピンジャック
S ビデオ入力	ミニ DIN ４ピン
オーディオ入力端子	ステレオミニジャック Φ3.5mm
オーディオ出力端子	ステレオミニジャック Φ3.5mm
動画キャプチャ解像度	80 × 60 ～ 720 × 480
録画形式	MPEG-1、MPEG-2、WMV（※2）、AVI（※2）
動画ビットレート	0.2Mbps ～ 15Mbps
音声圧縮形式 （MPEG ファイル時）	MPEG1 レイヤ 2
音声ビットレート	64Kbps ～ 384Kbps
使用電源	PCI バスより供給される 5V、12V
本体動作電圧	5V、± 12V
最大消費電力	8W
動作環境	温度：0 ～ 40 ℃　湿度：20 ～ 85%（結露なきこと）
外形寸法 (基板部分）	125(W) × 105(H) × 15(D)mm（突起部除く）
重量	約 160g

※1　専用のホームターミナル等が必要なチャンネルは受信できません。

※2　WMV 形式や AVI 形式での録画は自己責任にて行ってください。弊社では、WMV 形式や AVI 形式での録画した場合のサポートは行っておりません。

※3　音声の出力には、パソコンのサウンド機能が必要です。

動作環境	
CPU（※4）	PentiumⅢ 600MHz 以上、Celeron700MHz 以上、 AMD Athron600MHz 以上
メモリ	128 以上の RAM（WindowsXP/2000 は 256MB 以上）
ハードディスク	「PCastTV」のインストール用に 40MB 以上が必要です。 全ての添付ソフトをインストールするには 1GB 以上が必要です。 録画する場合は録画データの保存用に別途空き容量が必要です。
グラフィックカード	ハードウェアオーバーレイ表示可能なグラフィックカード （AGP 接続を推奨）（※5）
サウンド	48KHz ステレオ再生及び Direct Sound をサポートするサウンド機能とスピーカ（※6）
対応パソコン	PCI バス（Rev.2.1 以降）を搭載する DOS/V 機および NEC PC98-NX シリーズ
対応 OS	WindowsXP、Windows2000、WindowsMe(Millennium Edition)、Windows98SE(Second Edition)

※4　追っかけ再生や WMV 形式での録画など全ての機能を使用する場合は Pentium4 または AthlonXP 以上の CPU が必要です。

※5　S3 社製グラフィックチップには対応しておりません。

※6　USB スピーカには対応しておりません。

※7　アプリケーションをインストールするために CD-ROM ドライブが必要です。

PC-MV3DX/PCI ユーザーズガイド
2004 年 2 月 6 日 第 3 版発行
発行 株式会社バッファロー

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

・本機と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

PY00-29088-DM10-03 3-01 C10-004